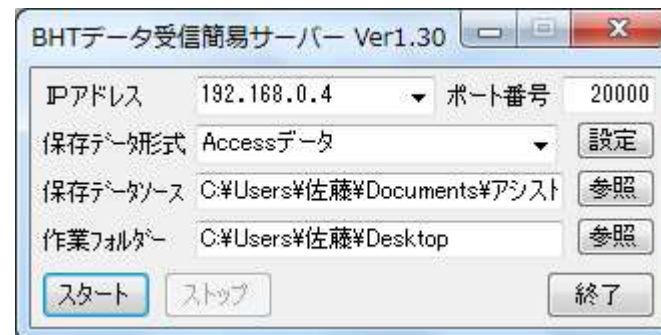


## BHT データ受信簡易サーバー 取扱説明書 第8版



2016年 8月 18日  
コンピュータ・アシスト株式会社



## 目次

1 動作環境 .....	1
2 機能 .....	1
3 プログラムのインストール .....	2
3-1 サーバープログラムのインストール .....	2
3-2 BHT-500プログラムのインストール .....	4
3-3 BHT-600プログラムのインストール .....	7
3-4 BHT-800プログラムのインストール .....	10
3-5 BHT-900プログラムのインストール .....	13
3-6 BHT-1300プログラムのインストール .....	16
4 サーバープログラムの起動 .....	19
4-1 固定長データ, カマ区切りデータ, カマ区切り(項目データを”で括る)の場合 .....	20
4-2 Accessデータの場合 .....	21
4-3 通信のスタート, ストップ .....	22
5 保存データ .....	23
6 通信履歴情報ファイル .....	24
7 HTプログラムの設定 .....	25
7-1 BHT-500 .....	25
7-2 BHT-600 .....	32
7-3 BHT-800 .....	39
7-4 BHT-900 .....	46
7-5 BHT-1300 .....	49
8 通信操作 .....	56
8-1 BHT-500 .....	56
8-2 BHT-600 .....	60
8-3 BHT-800 .....	64

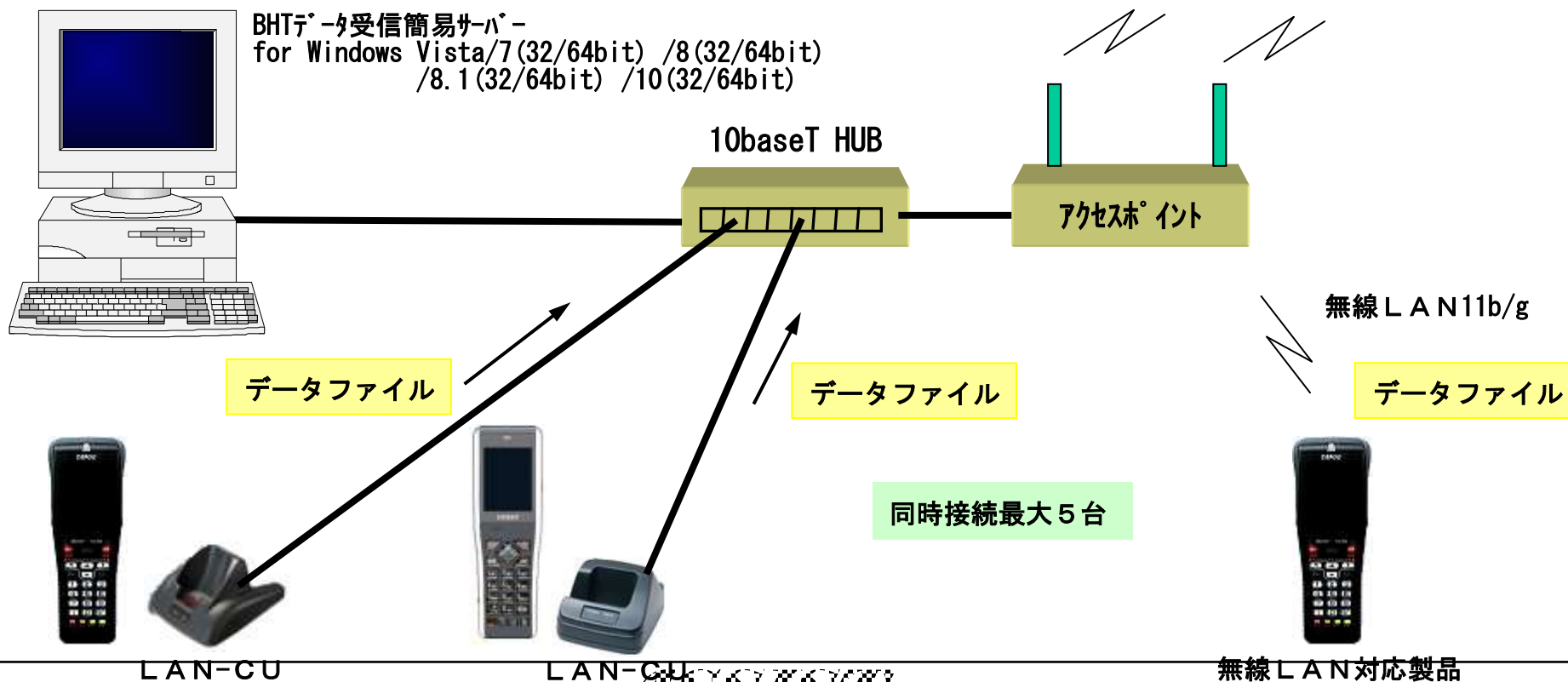
8-4 BHT-900.....	68
8-5 BHT-1300.....	71

## 1 動作環境

- 1) インターフェース Ethernet LAN I/F
- 2) OS Windows Vista/7(32/64bit)  
/8(32/64bit)/8.1(32/64bit)/10(32/64bit)
- 3) 必要なプログラム Microsoft .NET Framework 4.0  
アシストパック Pro BHT-500/BHT-600/BHT-800/BHT-900  
/BHT-1300

## 2 機能

LAN-CUまたは無線LANを使用して収集したデータを受信します。4種類のデータ形式（固定長、カンマ区切り、カンマ区切り項目データを”で括る、Accessテーブル）で受信データを保存します。同時接続は最大5台です。



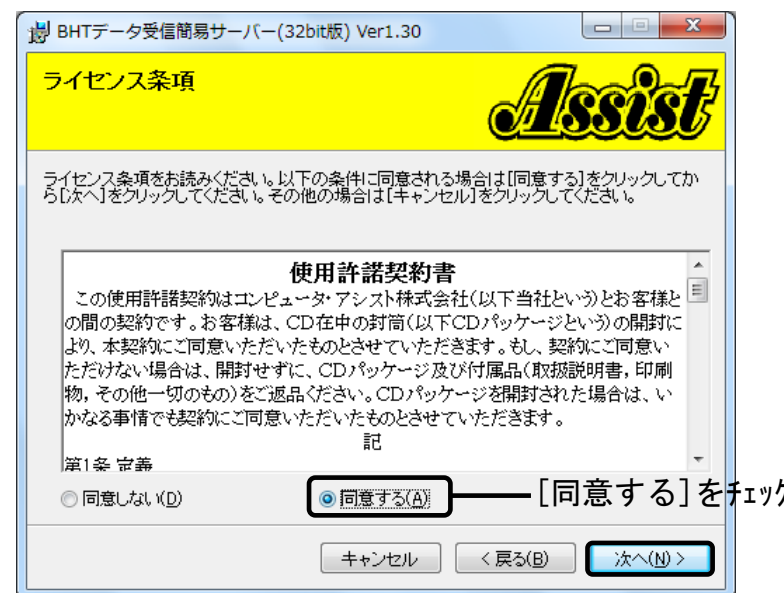
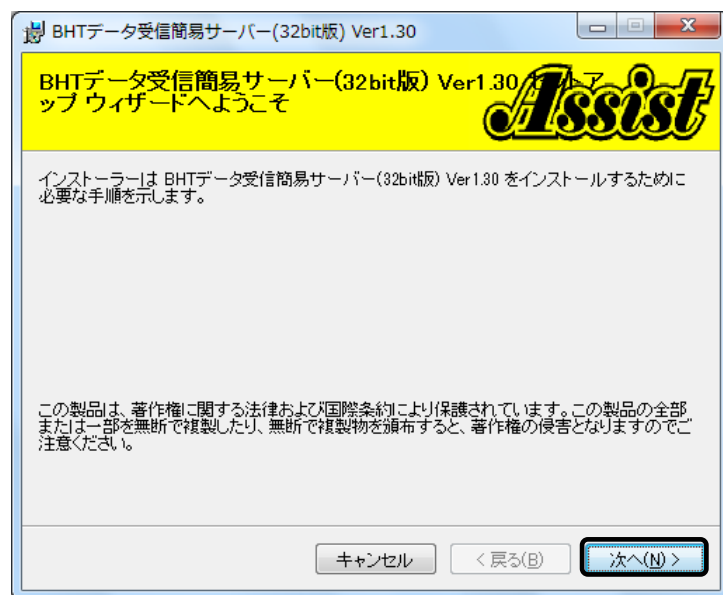
### 3 プログラムのインストール

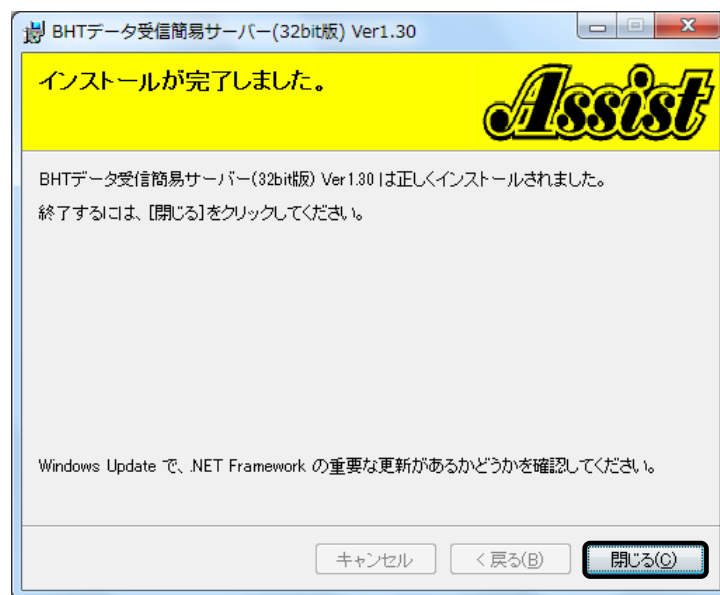
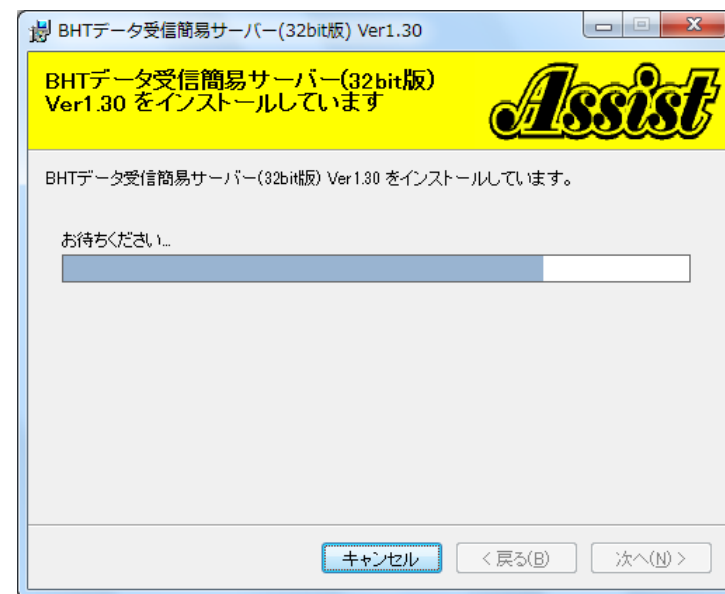
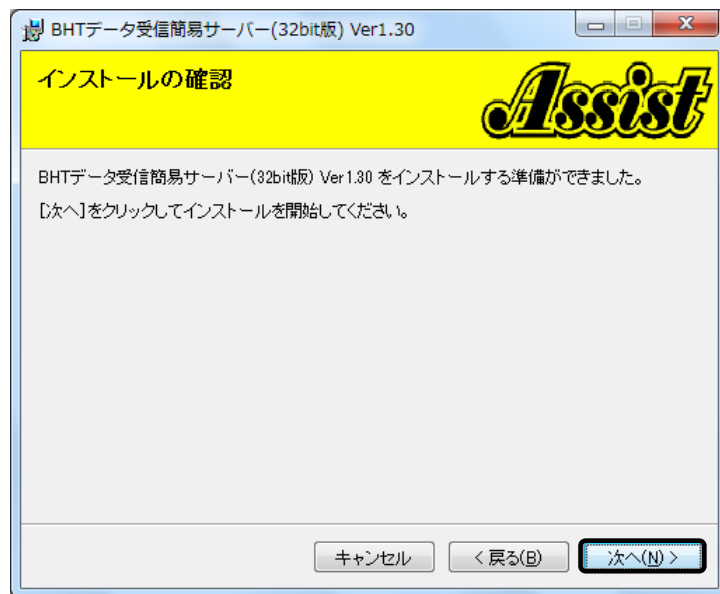
コンピュータ管理者のアカウントでログオンして、CDドライブにプログラムCDを挿入してください。自動的にインストールプログラムが起動します。

自動的にインストールプログラムが起動しない場合は、[スタート] – [ファイル名を指定して実行] を選択し [参照] ボタンをクリックして、プログラムCDの「BhtTcpComInst.exe」を選択し、[OK] ボタンをクリックしてインストールプログラムを実行してください。

#### 3-1 サーバープログラムのインストール

##### ■ 「BHTデータ受信簡易サーバー」のインストール





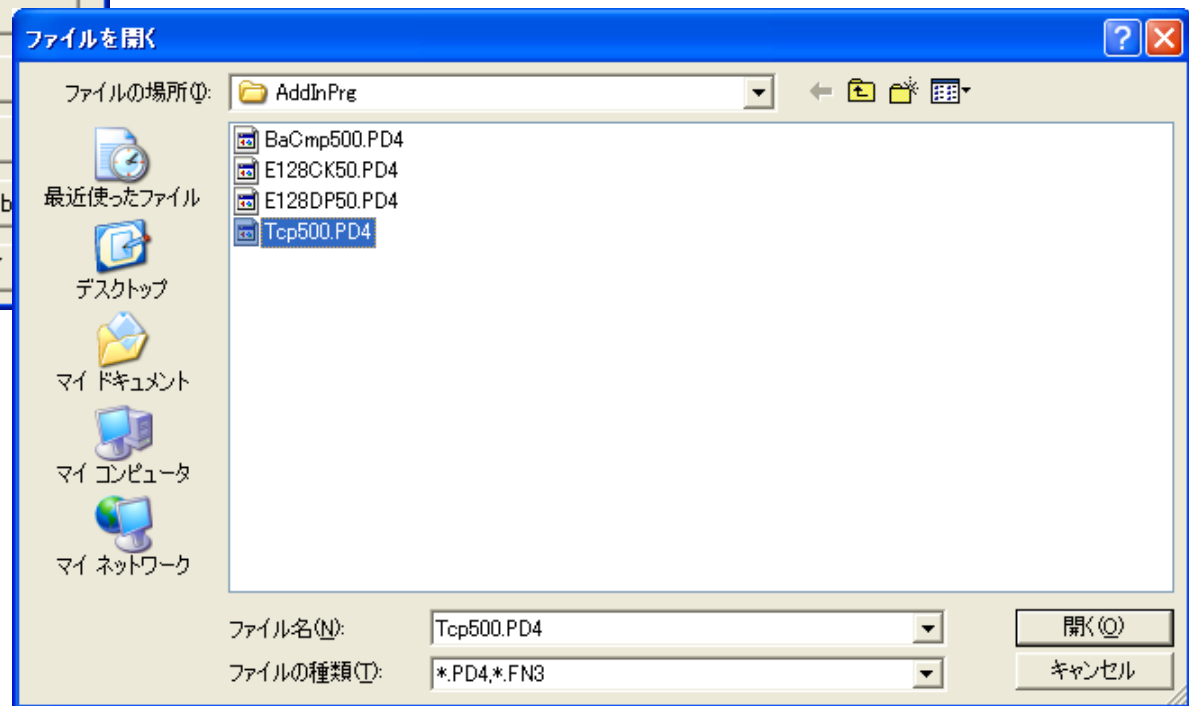
### 3-2 BHT-500プログラムのインストール

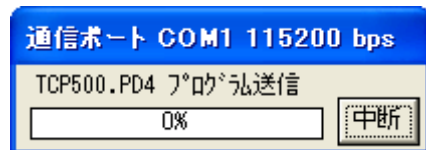
- 1) 「アシストパック Pro BHT-500 マネージャー」プログラムを起動して、アドイン通信プログラム「Tcp500.PD4」をダウンロードしてください。



[アドインプログラム転送]  
ボタンをクリックしてください。

Tcp500.PD4 を選択して、  
[開く] ボタンを  
クリックしてください。

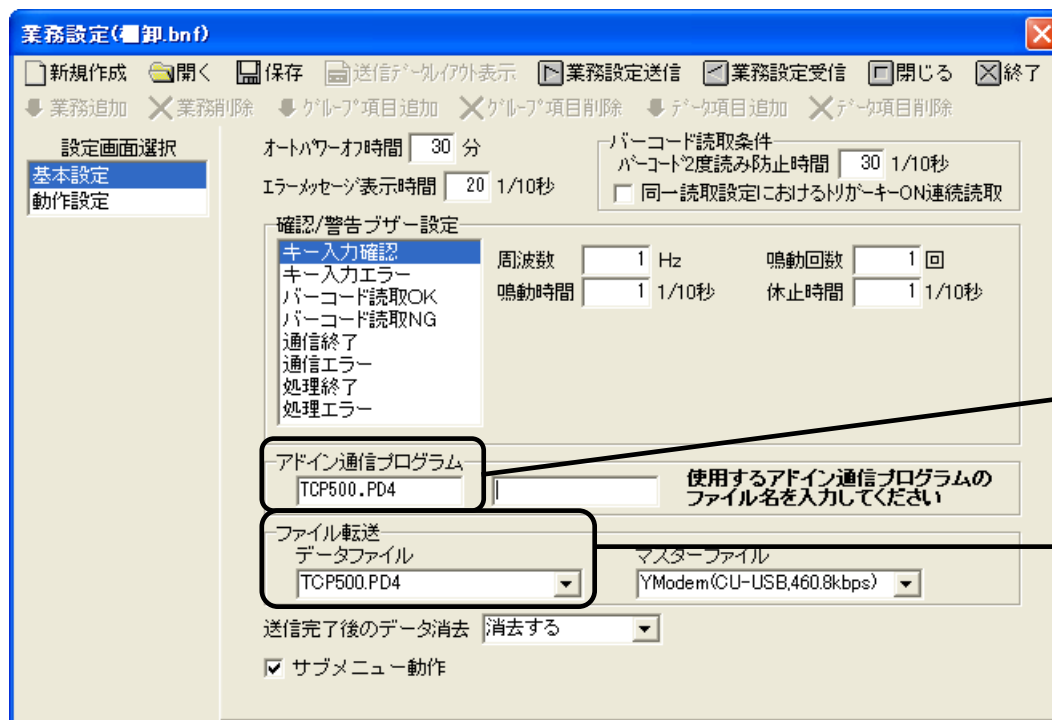




ハンディターミナルは「サブメニュー」-「9. ファイル受信」を実行し、通信ポートを選択して通信ユニットにセット



2) 業務設定にアドイン通信プログラムに「Tcp500. PD4」を設定してください。

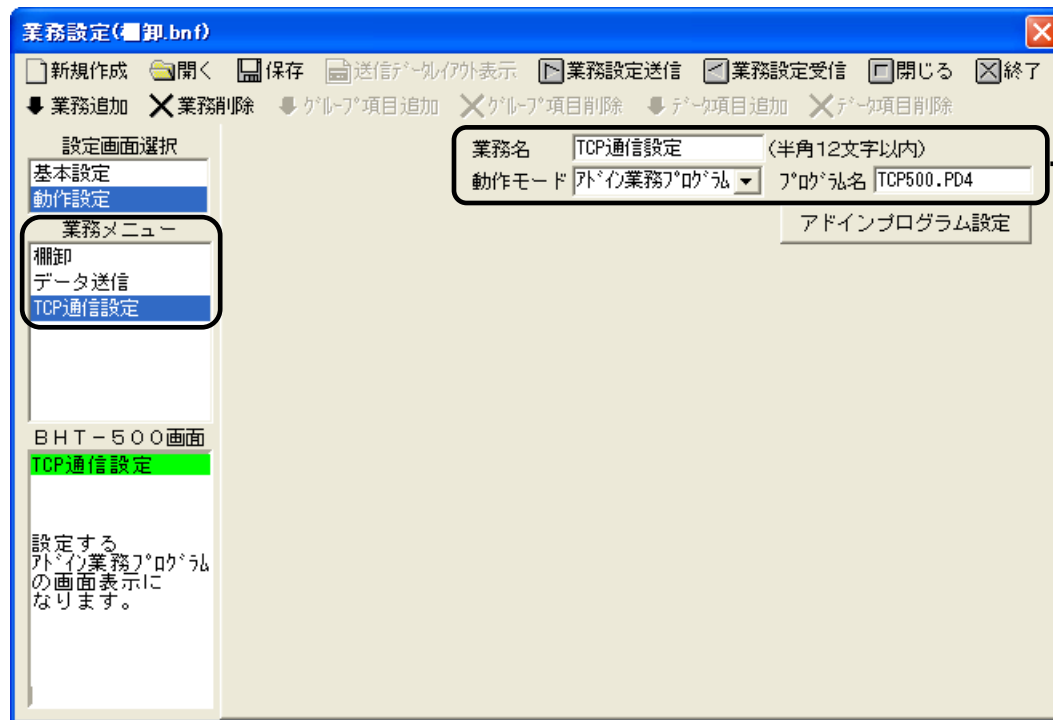


アドイン通信プログラムにTCP500. PD4を設定してください。

TCP500. PD4を選択してください。



3) 業務設定に通信設定としてアドイン業務プログラムを下図のように追加してください。

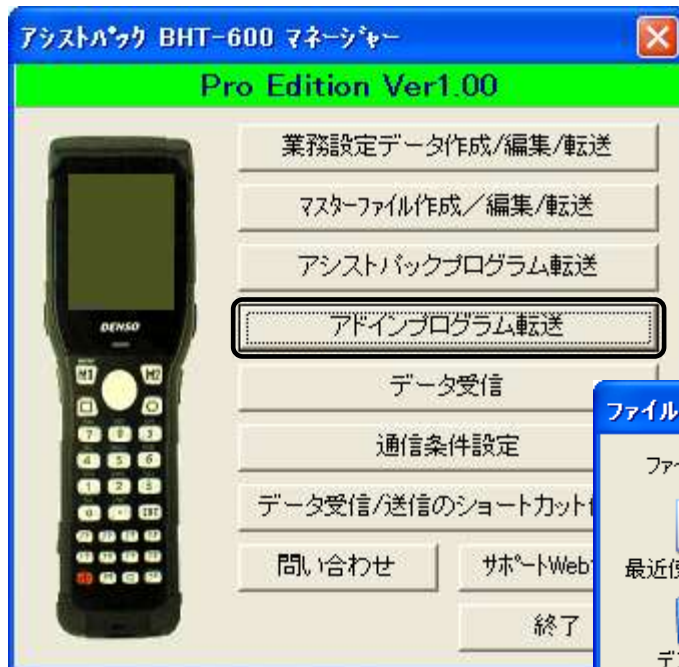


動作モード： アドイン業務プログラム  
プログラム名： TCP500.PD4  
に設定してください。

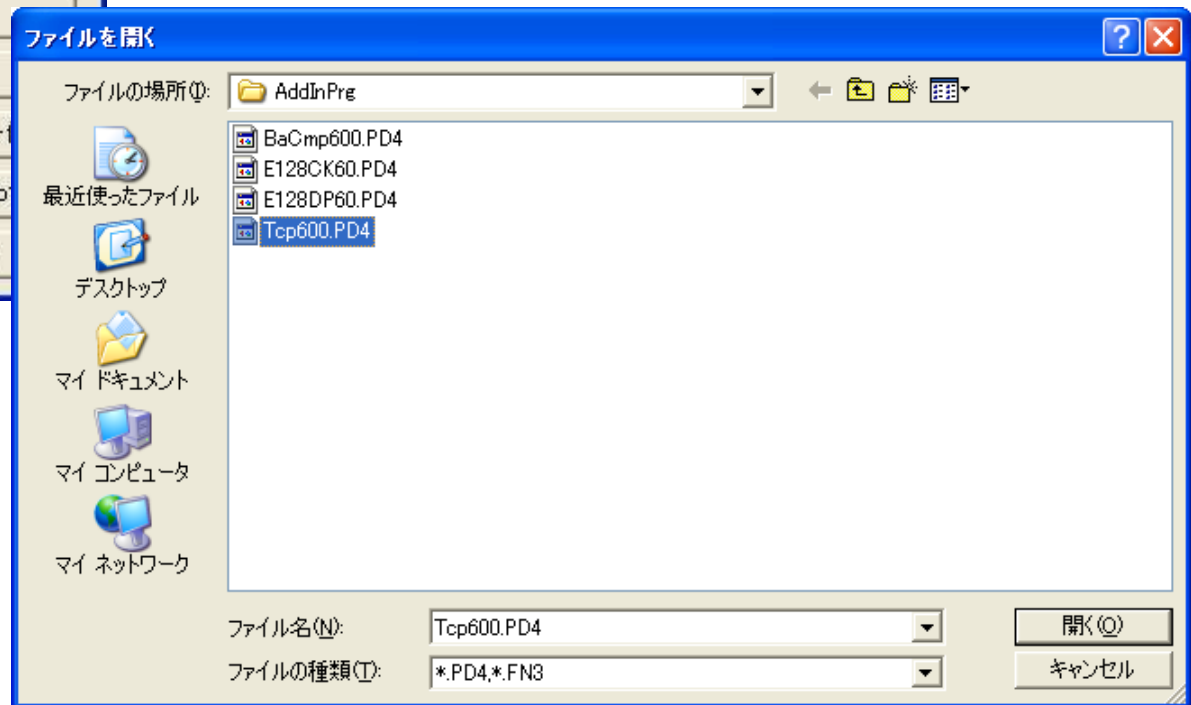
4) 設定した業務設定をBHT-500にダウンロードしてください。

### 3-3 BHT-600プログラムのインストール

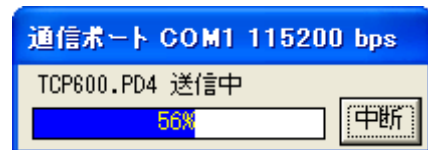
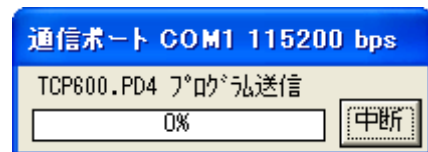
- 1) 「アシストパック Pro BHT-600マネージャー」プログラムを起動して、アドイン通信プログラム「Tcp600.PD4」をダウンロードしてください。



[アドインプログラム転送]  
ボタンをクリックしてください。



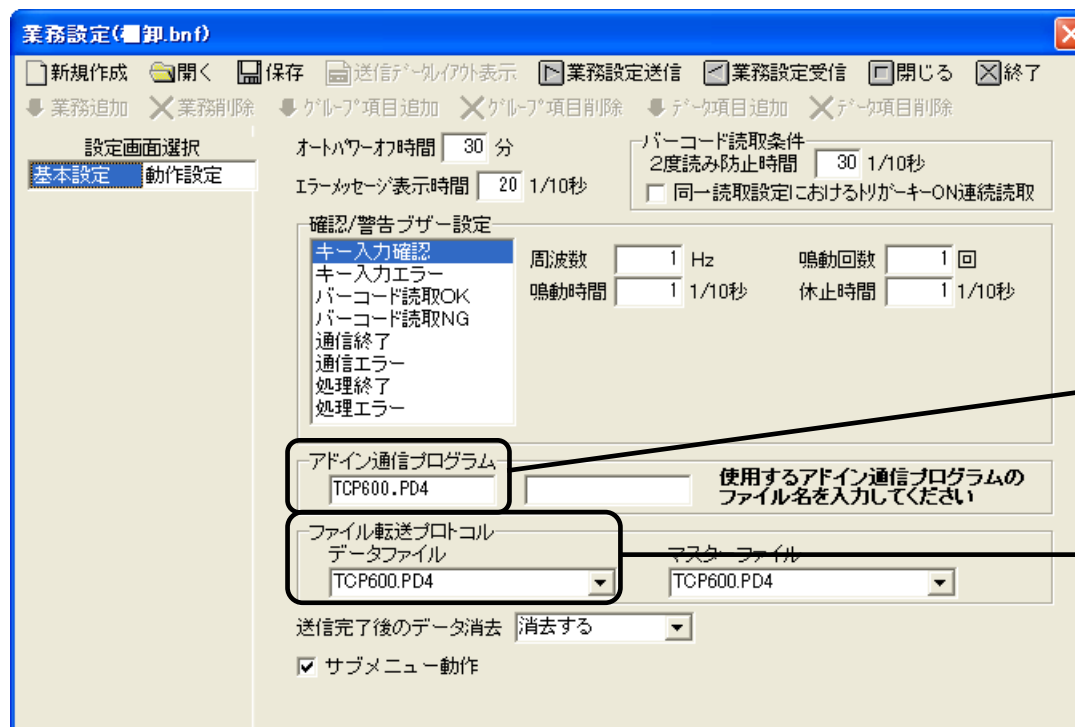
Tcp600.PD4 を選択して、  
[開く] ボタンを  
クリックしてください。



ハンディターミナルは「サブメニュー」-「9. ファイル受信」を実行し、通信ポートを選択して通信ユニットにセット



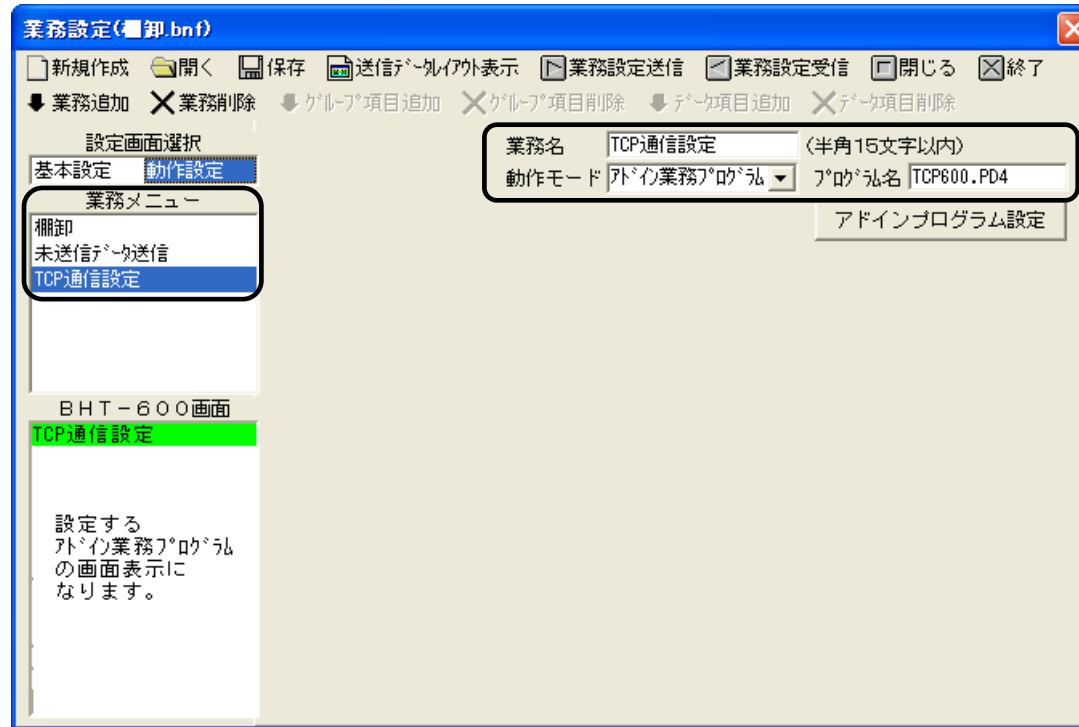
2) 業務設定にアドイン通信プログラムに「Tcp600. PD4」を設定してください。



アドイン通信プログラムにTCP600. PD4を設定してください。

TCP600. PD4を選択してください。

3) 業務設定に通信設定としてアドイン業務プログラムを下図のように追加してください。



動作モード： アドイン業務プログラム  
プログラム名： TCP600.PD4  
に設定してください。

4) 設定した業務設定をBHT-600にダウンロードしてください。

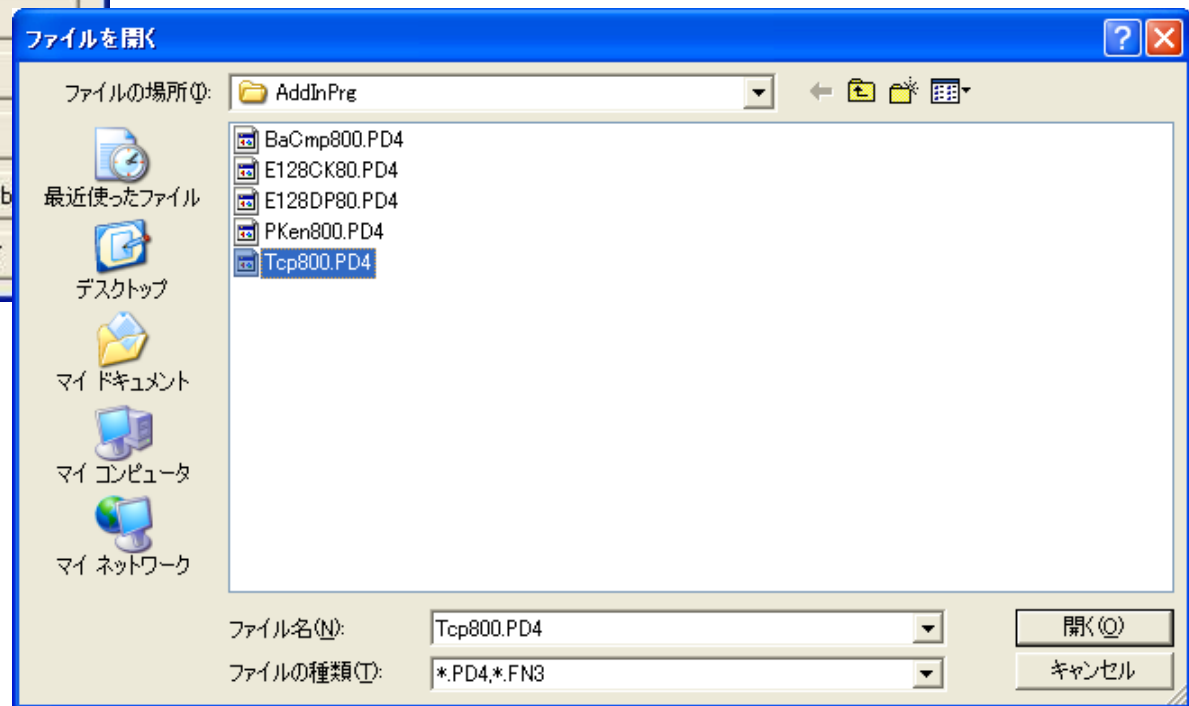
### 3-4 BHT-800プログラムのインストール

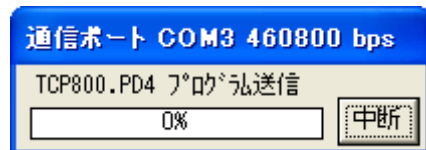
- 1) 「アシストパック Pro BHT-800 マネージャー」プログラムを起動して、アドイン通信プログラム「Tcp800.PD4」をダウンロードしてください。



[アドインプログラム転送]  
ボタンをクリックしてください。

Tcp800.PD4 を選択して、  
[開く] ボタンを  
クリックしてください。

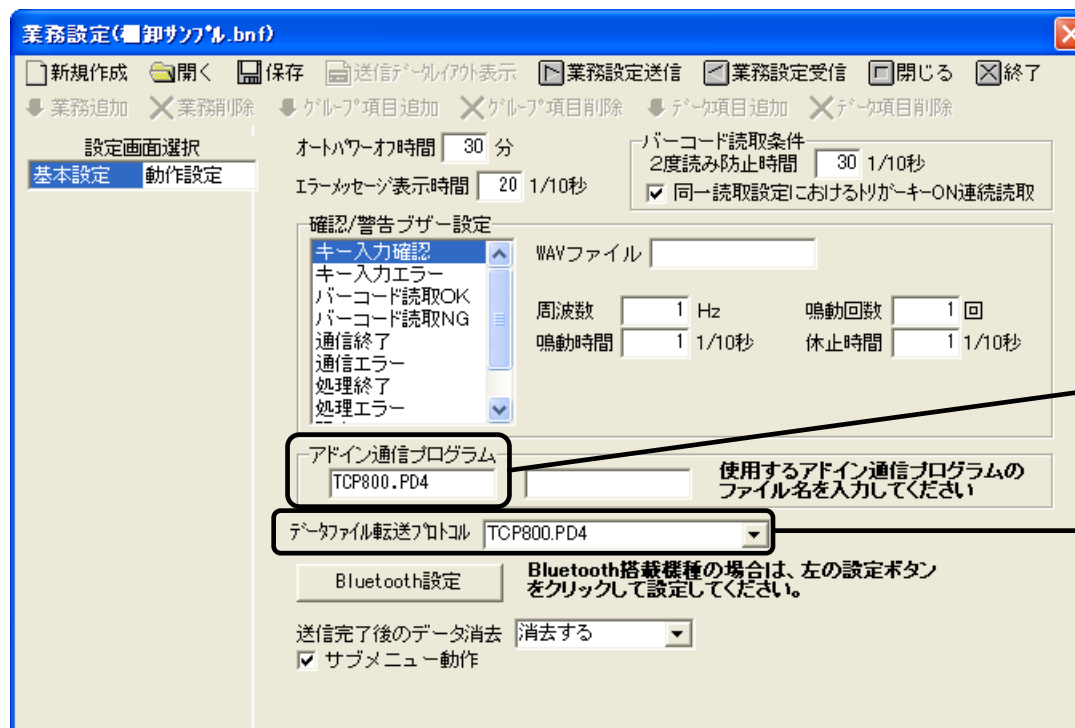




ハンディターミナルは「サブメニュー」-「9. ファイル受信」を実行し、通信ポートを選択して通信ユニットにセット



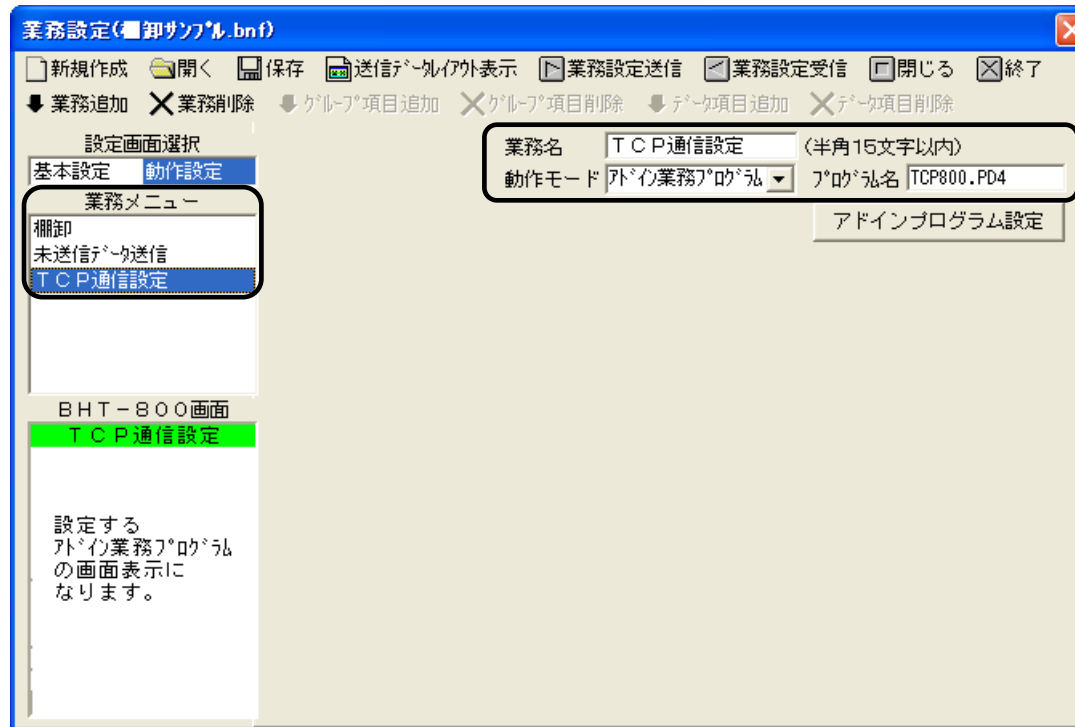
2) 業務設定にアドイン通信プログラムに「Tcp800. PD4」を設定してください。



アドイン通信プログラムにTCP800. PD4を設定してください。

TCP800. PD4を選択してください。

3) 業務設定に通信設定としてアドイン業務プログラムを下図のように追加してください。

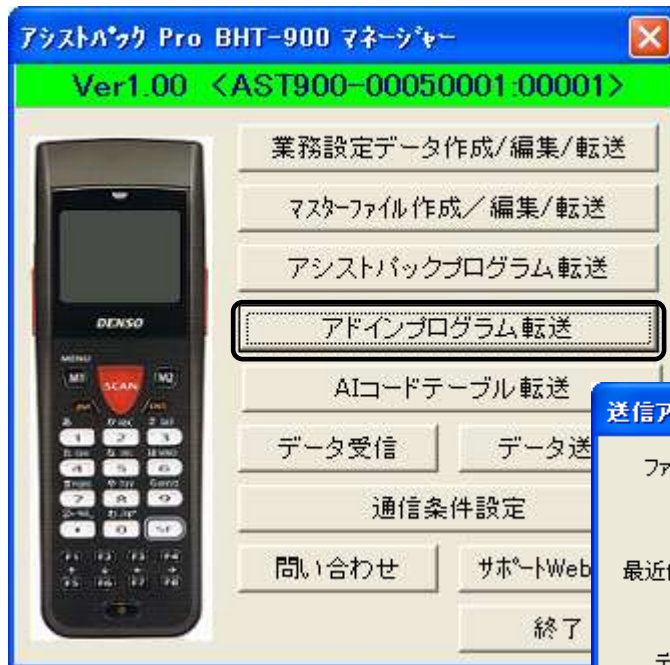


動作モード： アドイン業務プログラム  
プログラム名： TCP800.PD4  
に設定してください。

4) 設定した業務設定をBHT-800にダウンロードしてください。

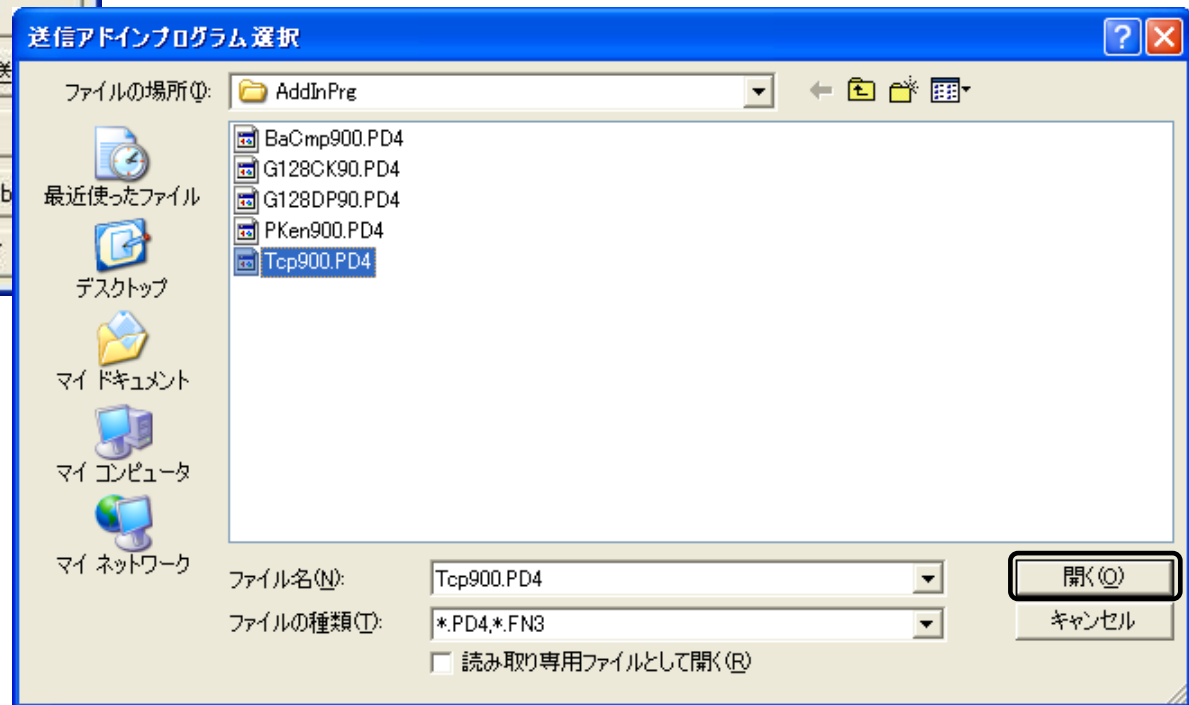
### 3-5 BHT-900プログラムのインストール

- 1) 「アシストパック Pro BHT-900 マネージャー」プログラムを起動して、アドイン通信プログラム「Tcp900.PD4」をダウンロードしてください。

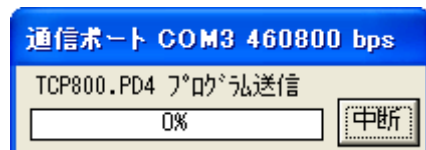


[アドインプログラム転送]  
ボタンをクリックしてください。

Tcp900.PD4 を選択して、  
[開く] ボタンを  
クリックしてください。



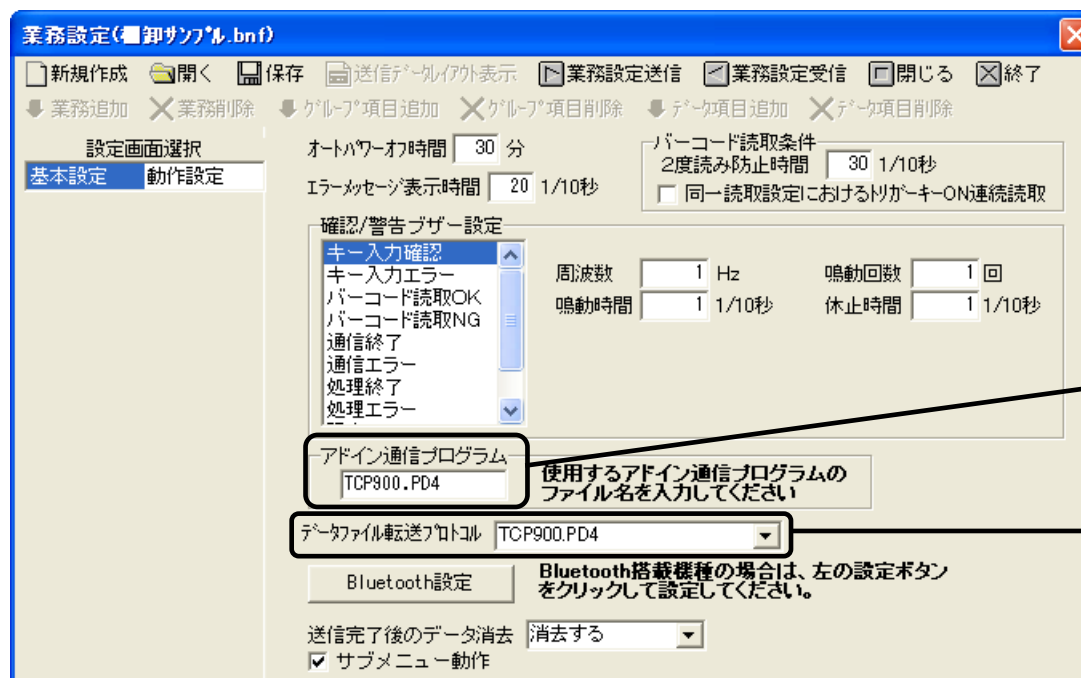




ハンディターミナルは「サブメニュー」-「9. ファイル受信」を実行し、通信ポートを選択して通信ユニットにセット



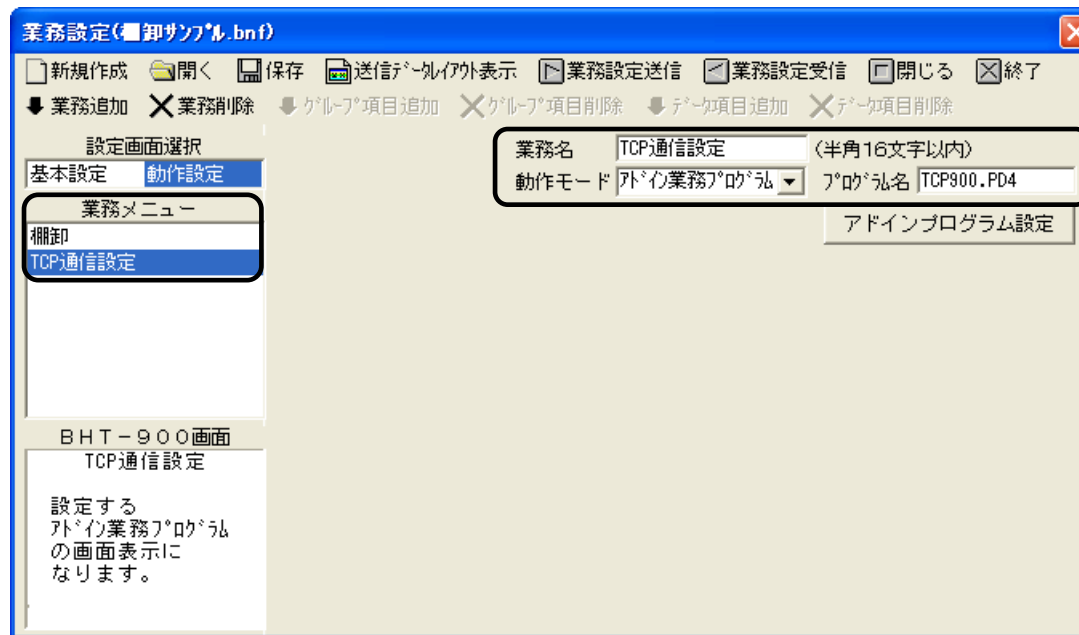
2) 業務設定にアドイン通信プログラムに「Tcp900. PD4」を設定してください。



アドイン通信プログラムにTCP900. PD4を設定してください。

TCP900. PD4を選択してください。

3) 業務設定に通信設定としてアドイン業務プログラムを下図のように追加してください。



動作モード： アドイン業務プログラム  
プログラム名： TCP900.PD4  
に設定してください。

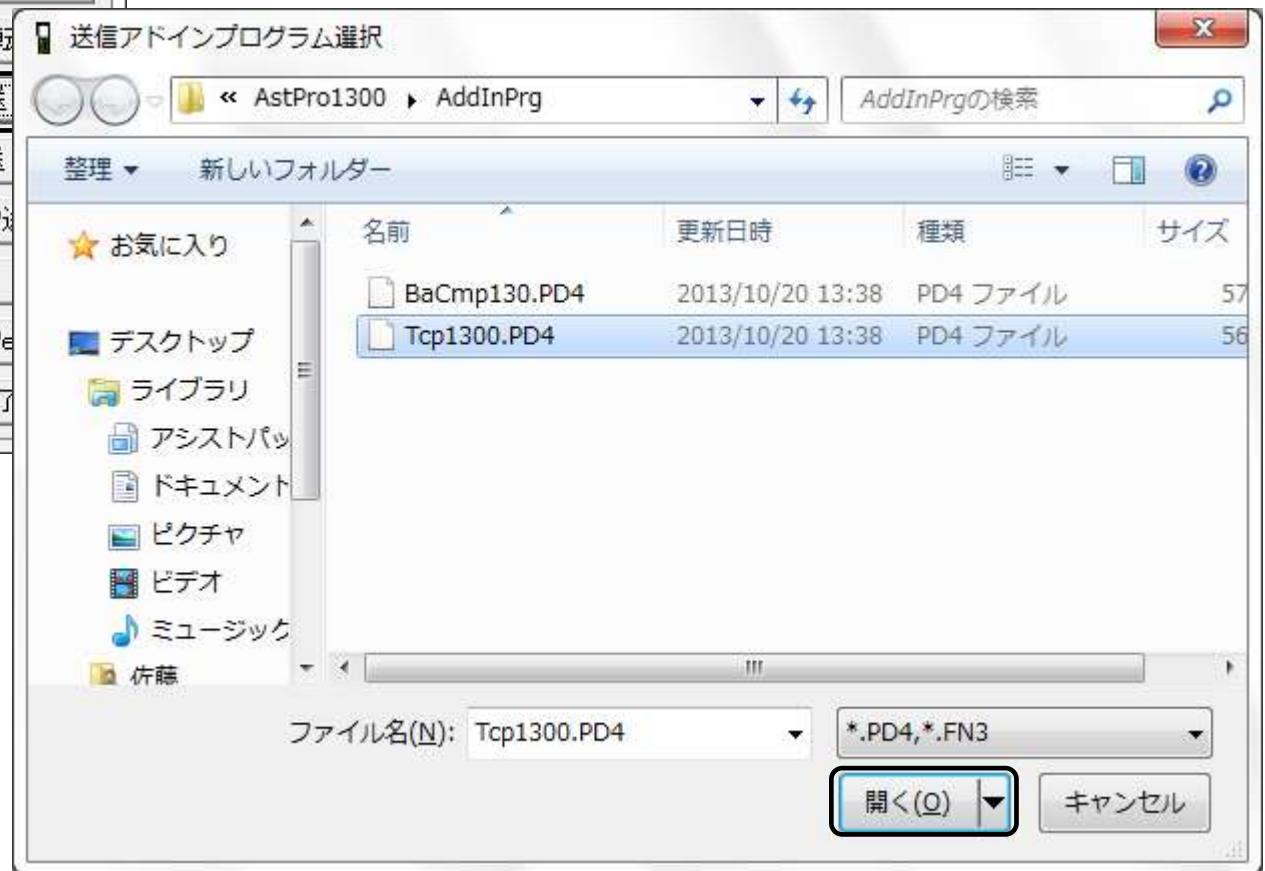
4) 設定した業務設定をBHT-900にダウンロードしてください。

### 3-6 BHT-1300プログラムのインストール

- 1) 「アシストパック Pro BHT-1300 マネージャー」プログラムを起動して、アドイン通信プログラム「Tcp1300.PD4」をダウンロードしてください。

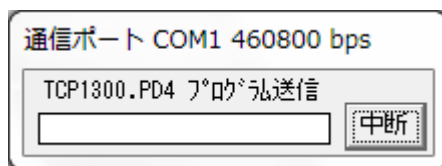


[アドインプログラム転送]  
ボタンをクリックしてください。



Tcp1300.PD4 を選択して、  
[開く] ボタンを  
クリックしてください。

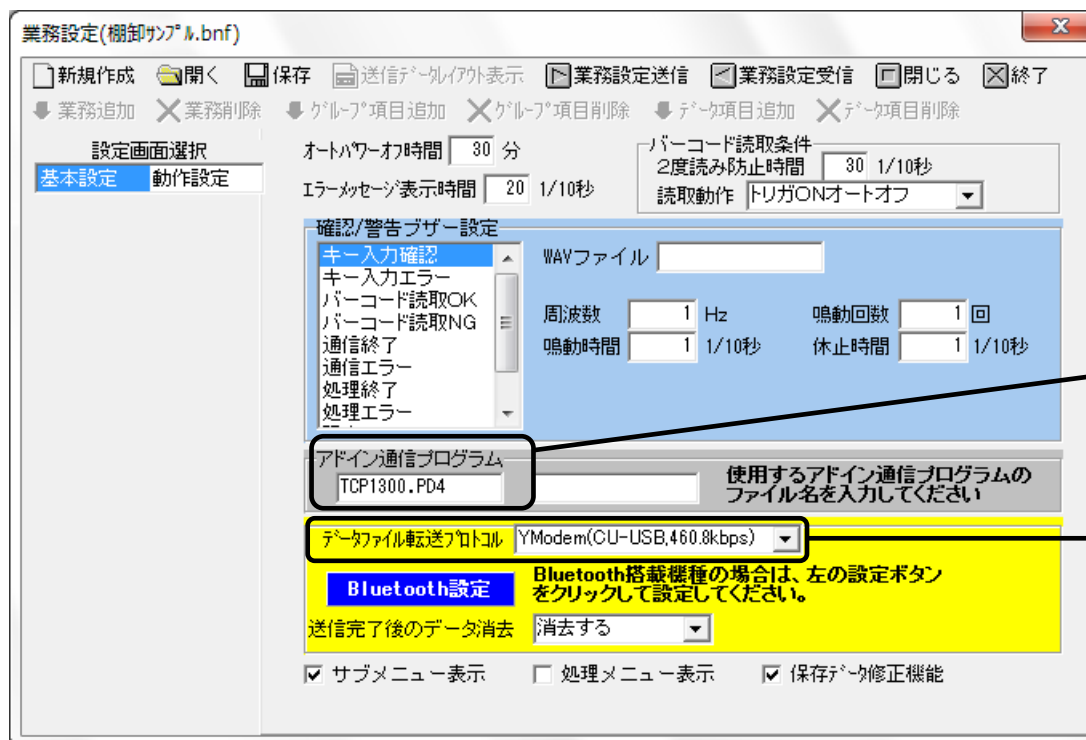




ハンディターミナルは  
「サブメニュー」-「9. ファイル受信」  
を実行し、通信ポートを選択して通信  
ユニットにセット



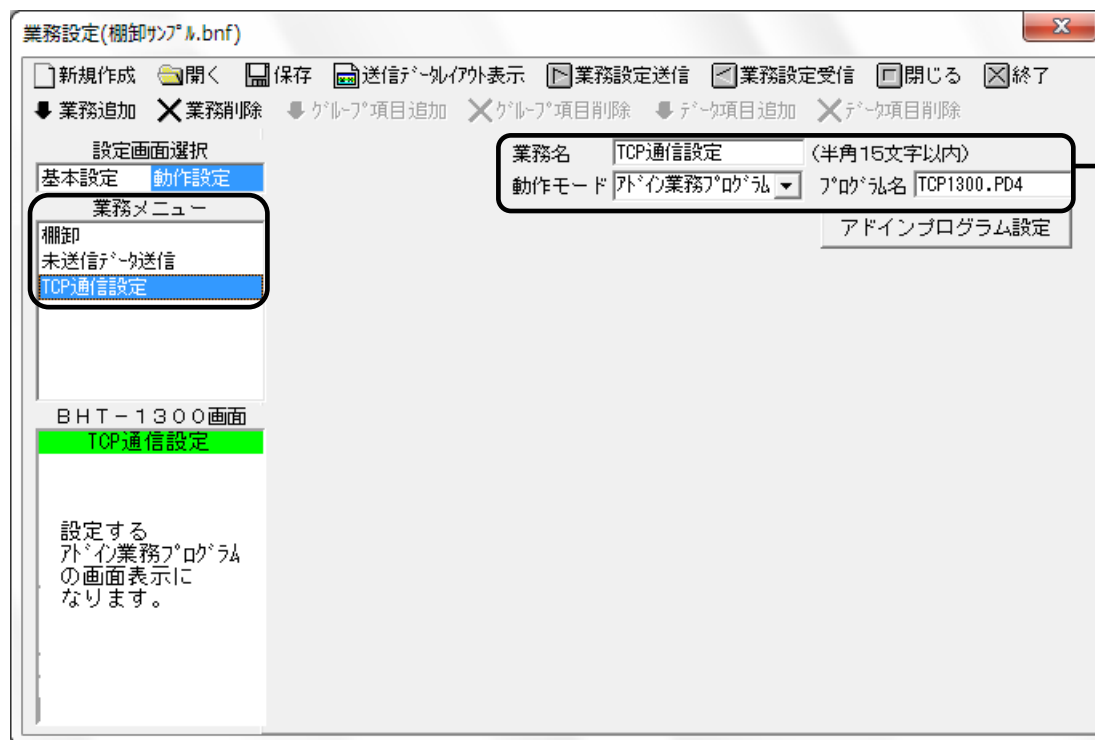
2) 業務設定にアドイン通信プログラムに「TCP1300.PD4」を設定してください。



アドイン通信プログラムに  
TCP1300.PD4  
を設定してください。

TCP1300.PD4を  
選択してください。

3) 業務設定に通信設定としてアドイン業務プログラムを下図のように追加してください。



動作モード： アドイン業務プログラム  
プログラム名： TCP1300.PD4  
に設定してください。

4) 設定した業務設定をBHT-800にダウンロードしてください。

## 4 サーバプログラムの起動

デスクトップ上のショートカットをダブルクリックするか、[スタート] ボタンから [スタート] → [すべてのプログラム] → [アシストパック] → [BHTデータ受信簡易サーバー] とクリックして起動します。

デスクトップ上のショートカットアイコン：



ここをクリック

[スタート] ボタンから：



BHTデータ受信簡易サーバー Ver1.30

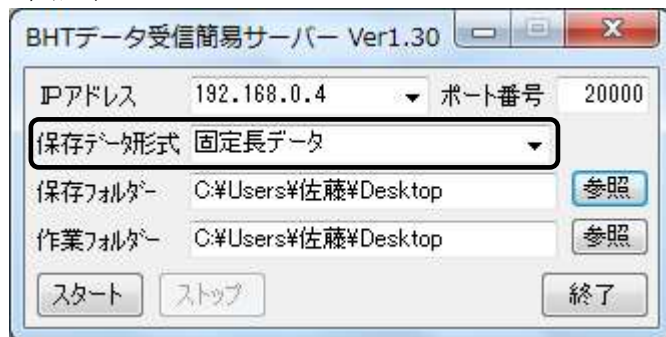
IPアドレス	192.168.0.4	ポート番号	20000
保存データ形式	固定長データ		
保存フォルダー	C:\Users\佐藤\Desktop 参照		
作業フォルダー	C:\Users\佐藤\Desktop 参照		
スタート		ストップ	終了

スタート	：通信を開始します。
ストップ	：通信を停止します。
終了	：プログラムを終了します。

項目	説明
IPアドレス	BHT データ受信簡易サーバーで使用するIPアドレスです。複数のLAN I/Fがある場合は、使用するIPアドレスを選択してください。
ポート番号	BHT データ受信簡易サーバーで使用するポート番号です。初期値は20000です。他のプログラムが使用していたら変更してください。
保存データ形式	「固定長データ」、「カンマ区切りデータ」また「カンマ区切り（項目データを“で括る）」、「Accessデータ」から選択してください。
保存フォルダー	送信したデータを保存するフォルダーを設定してください。
作業フォルダー	一時ファイルと通信履歴ファイルを保存するフォルダーを設定してください。

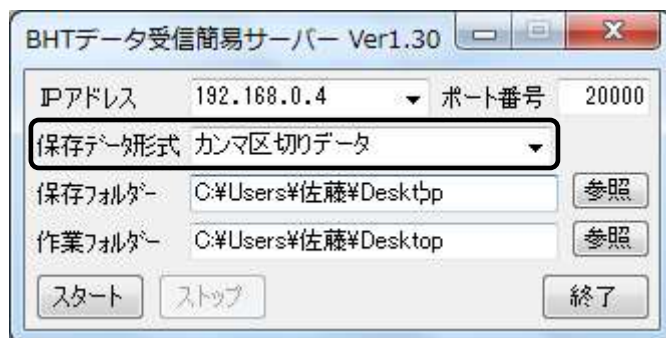
#### 4-1 固定長データ、カンマ区切りデータ、カンマ区切り(項目データを”で括る)の場合

##### 1) 固定長データ



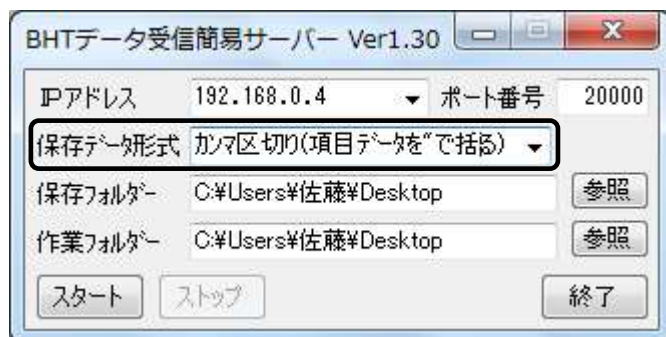
保存データ形式に固定長データを選択して、受信するデータの保存フォルダーを設定してください。

##### 2) カンマ区切りデータ



保存データ形式にカンマ区切りデータを選択して、受信するデータの保存フォルダーを設定してください。

##### 2) カンマ区切り (項目データを“で括る)



保存データ形式にカンマ区切り (項目データを“で括る)を選択して、受信するデータの保存フォルダーを設定してください。



## 4-2 Accessデータの場合

予めデータを保存する Access テーブルを作成する必要があります。

保存データ形式に Access データを選択して、保存データソースに Access データファイルを設定してください。

設定ボタンをクリック



追加ボタンをクリック

BHTファイル	通信方向	保存テーブル

BHTフィールド No	Accessデータベース テーブルの対応フィールド
1	棚卸日
2	棚No
3	商品コード
4	数量

BHT ファイル, BHT フィールド数を入力して、データを保存する保存テーブルをクリックし、対応フィールドを設定してください。

登録ボタンをクリック



編集ボタンをクリック

BHTファイル	通信方向	保存テーブル
TANA.TXT	-->>	棚卸

設定データの編集：設定データをクリックして選択し、**編集**ボタンをクリック  
設定データを削除：削除する設定データをクリックして選択し、**削除**ボタンをクリック



### 4-3 通信のスタート、ストップ

BHTデータ受信簡易サーバー Ver1.30

IPアドレス 192.168.0.4 ポート番号 20000

保存データ形式 固定長データ

保存フォルダー C:\Users\佐藤\Desktop 参照

作業フォルダー C:\Users\佐藤\Desktop 参照

スタート ストップ 終了

データ受信待ち状態

↓ [スタート] ボタンをクリック

データ受信待ち

IPアドレス 192.168.0.4 ポート番号 20000

保存データ形式 カンマ区切り(項目データを"で括る)

保存フォルダー C:\Users\佐藤\Desktop 参照

作業フォルダー C:\Users\佐藤\Desktop 参照

スタート ストップ 終了

通信停止状態

↓ [ストップ] ボタンをクリック

通信停止

IPアドレス 192.168.0.4 ポート番号 20000

保存データ形式 カンマ区切り(項目データを"で括る)

保存フォルダー C:\Users\佐藤\Desktop 参照

作業フォルダー C:\Users\佐藤\Desktop 参照

スタート ストップ 終了

通信中の場合は通信終了を待ちます

通信停止処理中

IPアドレス 192.168.0.4 ポート番号 20000

保存データ形式 カンマ区切り(項目データを"で括る)

保存フォルダー C:\Users\佐藤\Desktop 参照

作業フォルダー C:\Users\佐藤\Desktop 参照

スタート ストップ 終了

通信中に[ストップ]  
ボタンをクリック



通信がすべて終了



## 5 保存データ

ハンディターミナル内のファイル名に「**YYMMDD**」があると、**YYMMDD**の位置に日付をいれて受信データのファイル名にします。

例) 2011/01/01 に受信した場合
TAYYMMDD.TXT ⇒ TA110101.TXT
YYMMDD.CSV ⇒ 110101.CSV
YYMMDDAB.DAT ⇒ 110101AB.DAT

処理日：10桁 棚No：6桁 JANコード：13桁 数量：6桁（符号付）と設定した場合の「固定長データ」，「カンマ区切りデータ」，「カンマ区切り（データ項目を“で括る）」の保存データは下記のようになります。

### ① 固定長データ形式

処理日	棚No	JANコード	数量
2008/10/01	000001	4901780331208	+000001
2008/10/01	000001	4901780331208	+000001
	⋮		
	⋮		
	⋮		
2008/10/01	000001	4902011600209	+0000010

### ② カンマ区切りデータ形式

処理日	棚No	JANコード	数量
2008/10/01	000001	4901780331208	+000001
2008/10/01	000001	4901780331208	+000001
	⋮		
	⋮		
	⋮		
2008/10/01	000001	4902011600209	+000001

② カンマ区切り（データ項目を“で括る）データ形式

処理日	棚No	JANコード	数量
"2008/10/01",	"000001",	"4901780331208",	"+000001"
"2008/10/01",	"000001",	"4901780331208",	"+000001"
⋮	⋮	⋮	⋮
"2008/10/01",	"000001",	"4902011600209",	"+000001"

## 6 通信履歴情報ファイル

通信履歴情報を作業フォルダーに次のファイル名で保存します。

ファイル名：B h t T c p Y Y Y Y - M M - D D . l o g （ Y Y Y Y : 西暦年 M M : 月 D D : 日 ）

通信中はデータを一時ファイルに保存し、受信終了後に保存フォルダーの保存ファイルにデータをコピーします。正常に終了した場合、一時ファイルを削除しますが、データ保存に失敗した場合は、一時ファイルを削除しないで保存します。HTからデータ送信を正常終了したのにデータ保存失敗した場合は、この一時ファイルに保存されています。

保存データ内容

日付	時刻	HtNo	BHT ファイル	状態	一時ファイル
2008/10/01	1:05:45	0001	TANA.TXT	データ受信	Tmp01.txt
2008/10/01	1:05:45	0001	TANA.TXT	データ保存	
2008/10/01	1:13:33	0002	TANA.TXT	データ受信	Tmp02.txt
2008/10/01	1:13:33	0002	TANA.TXT	データ保存	
2008/10/01	1:23:10	0003	TANA.TXT	データ受信失敗	
2008/10/01	1:25:01	0002	TANA.TXT	データ受信	Tmp04.txt
2008/10/01	1:25:01	0002	TANA.TXT	データ保存失敗	

## 7 HTプログラムの設定

### 7-1 BHT-500

**業務メニュー ▲**

1. 棚卸
2. データ送信
3. TCP 通信設定

F1 Ver F2 送 M2 実行



**設定メニュー**

\*\*\*\*\*

1. サーバー設定
2. 通信設定
3. 接続テスト
4. 無線状態検査

M1 終了 M2 実行

設定により LAN-CU,  
無線 11b, 無線 11g  
のいずれかを表示  
します。

#### 1) サーバー設定

**サーバー設定**

サーバー IP アドレス

192.168. 0.100

ポート番号 20000

データ保存

上書き 追加

M1 取消 M2 確定

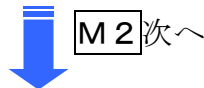
入力項目の背景色  
が緑になります。

入力項目	説明
サーバー IP アドレス	サーバーの IP アドレスを入力してください。
ポート番号	サーバーで設定したポート番号を入力してください。
データ保存	データの上書き保存または追加保存を選択してください。

▲, ▼ : 項目移動  
, : データ選択  
◀, ▶ 取消 : 編集中的数据を取り消して戻ります。  
M2 確定 : 編集したデータを確定して戻ります。

## 2) 通信設定

通信設定	
HT-IP アドレス	192.168. 0. 10
サブネットマスク	255.255.255. 0
デフォルトゲートウェイ	0. 0. 0. 0
通信ポート選択	LAN-CU 無線 LAN
M1 取消 M2 次へ	



通信ポート選択を [LAN-CU] に設定した場合は LAN-CU 通信設定画面へ、  
[無線 LAN] に設定した場合は無線 LAN 通信設定画面へ移ります。

入力項目	説明
HT-IP アドレス	HT の IP アドレスを入力してください。他の HT の IP アドレスと重複しないネットワーク上でユニークなアドレスを設定してください。
サブネットマスク	使用するネットワークのサブネットマスクを入力します。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイの IP アドレスを入力します。ゲートウェイがない場合は、0.0.0.0 を設定してください。
通信ポート選択	LAN-CU または無線 LAN を選択します。

▲, ▼	項目移動
◀, ▶	データ選択
M1	取消 : 編集中的数据を取り消して戻ります。
M2	次へ : 次の入力項目に移動します。

① LAN-CU (CU-511) の通信設定

**LAN-CU 通信設定**

リンク確立再送回数 5

リンク確立再送間隔 5

リンク開放再送回数 5

リンク開放再送間隔 5

リンク開放時間 30

M1 取消 M2 確定

入力項目の背景色が緑になります。

入力項目	説明
リンク確立再送回数	0～32767 (デフォルト値 5)
リンク確立再送間隔	1～32767 (デフォルト値 5)
リンク開放再送回数	0～32767 (デフォルト値 5)
リンク開放再送間隔	1～32767 (デフォルト値 5)
リンク開放時間	0～32767 (デフォルト値 30)

▲, ▼ : 項目移動

M1 取消 : 編集中的数据を取り消して戻ります。  
M2 確定 : 編集中的数据を確定して保存します。

## ② 無線LANの通信設定

**無線LAN通信設定**

無線方式 **11b** 11g

SSID

ASSIST

使用する WEP キー  
キー1 キー2 キー3 キー4

WEP キー 1 64bit  
\*\*\*\*\*

WEP キー 2 128bit  
\*\*\*\*\*

M 1 取消 M 2 確定



**無線LAN通信設定**

WEP キー 1 64bit

.....

WEP キー 2 128bit  
\*\*\*\*\*

WEP キー 3 64bit  
\*\*\*\*\*

WEP キー 4 128bit  
\*\*\*\*\*

省電力モード  
**ON** OFF

M 1 取消 M 2 確定

入力項目の背景色が緑になります。

WEP キー 64 b i t / 1 2 8 b i t の選択  
WEP キー項目を選択して、

- ☐ : WEP キー\* 64bit を表示して  
WEP キー 6 4 b i t の入力になります。
- ☐ : WEP キー\* 128bit を表示して  
WEP キー 1 2 8 b i t の入力になります。

▲, ▼ : 項目移動

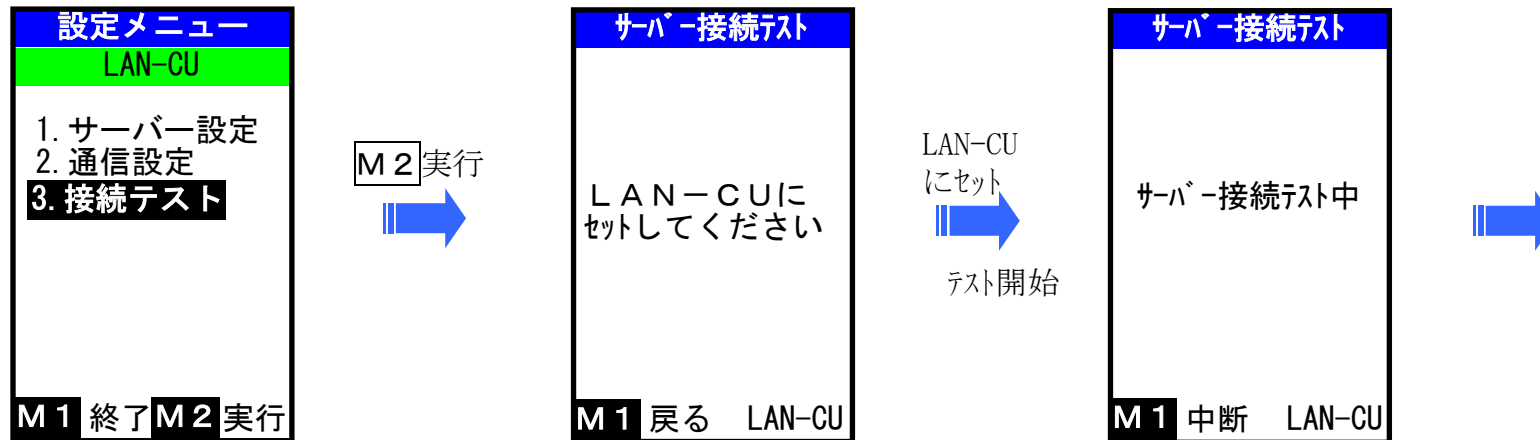
M 1 取消 : 編集集中のデータを取り消して戻ります。  
M 2 確定 : 編集集中のデータを確定して保存します。

入力項目	説明
無線方式	使用する無線通信方式を、11b, 11g から選択します。
SSID	アクセスポイントと同じSSIDを設定してください。(英数字20文字)
使用する WEP キー	アクセスポイントと同じ WEP キーになるように WEP キー 1 ~ WEP キー 4 から選択してください
WEP キー 1 ~ WEP キー 4	64 b i t の場合は、暗号化キーを数字10文字を設定してください。 128 b i t の場合は、暗号化キーを数字26文字を設定してください。 設定されている WEP キーを変更する場合のみ入力してください。 設定済み WEP キーは表示しませんので注意してください。 アクセスポイントの WEP キーは16進数で設定してください。 アクセスポイントの WEP キーと一致しないとLANに接続しませんので注意してください！！。
省電力モード	省電力モードの ON/OFF を選択します。

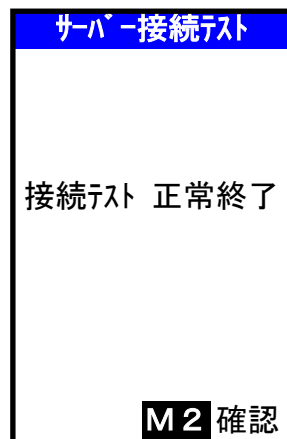
### 3) 接続テスト

#### ① LAN-CUにおける接続テスト

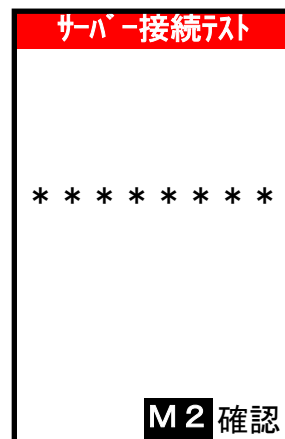
BHT データ受信簡易サーバーを起動してから接続テストをしてください。



#### 正常終了表示画面



#### エラー表示画面



エラー表示	対処法
LAN-CU 接続エラー	LAN-CU の電源を確認
サーバー IP 接続エラー	サーバー IP アドレスとポート番号設定, スイッチングバブ動作, ケーブル接続を確認
サーバー接続失敗	データベース検索簡易サーバーを起動して、サービスをスタートしてください。



① 無線LANにおける接続テスト

■ 無線状態検査

設定メニュー	
無線 LAN-11b	
1. サーバー設定	
2. 通信設定	
3. 接続テスト	
4. 無線状態検査	
M1 終了 M2 実行	

M2 実行



無線状態検査	
無線 LAN-11b	
SSID	ASSIST
AP-MAC アドレス	ABCDEFGHIJKL
受信信号強度	100
通信品質	[****]
M2 確認	

表示項目	説明
SSID	無線状態を検査するSSIDを先頭から16文字表示します。
アクセス点 MAC アドレス	相手のアクセスポイントのMACアドレスを表示します。
受信信号強度	0～100
通信品質	通信品質を「*」の数で表示します。最高の表示が「****」です。

通信可能なアクセス点がない場合

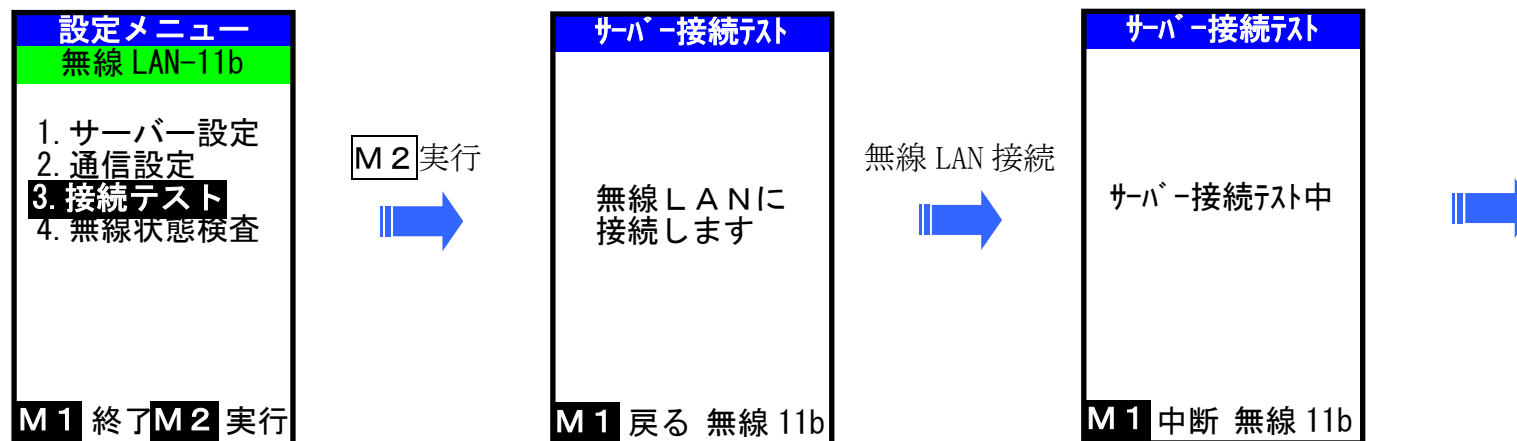
無線状態検査	
無線 LAN-11b	
通信可能な アクセス点 がありません	
M2 確認	

対処法

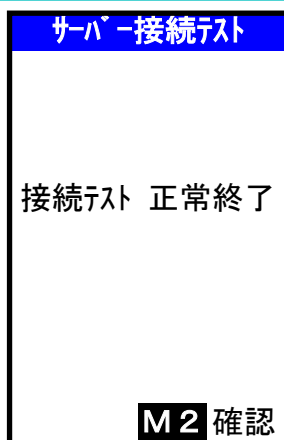
- ・ 無線方式がアクセスポイントと一致しているか確認してください。
- ・ SSIDの設定がアクセスポイントと一致しているか確認してください。
- ・ アクセスポイントの設置場所を変更してみてください。

# ■ 接続テスト

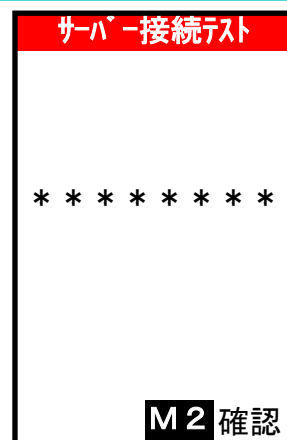
BHT データ受信簡易サーバーを起動してから接続テストをしてください。



## 正常終了表示画面



## エラー表示画面



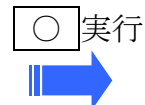
エラー表示	対処法
無線 LAN 接続エラー	アクセスポイントの無線方式, SSID の設定を確認
サーバー IP 接続エラー	サーバー IP アドレス設定, スイッチングバブ動作, ケーブル接続を確認 アクセスポイントのネットワーク設定を確認
サーバー接続失敗	データベース検索簡易サーバーを起動して、サービスをスタートしてください。 WEP 設定がアクセスポイントの設定と一致しているか確認

## 7-2 BHT-600

**業務メニュー** ▼

1. 棚卸
2. データ送信
- 3. TCP 通信設定**

F1 Ver F2 サブメニュー ○ 実行



**設定メニュー**

\*\*\*\*\*

- 1. サーバー設定**
2. 通信設定
3. 接続テスト
4. 無線状態検査

□ 終了 ○ 実行

設定により LAN-CU,  
無線 11b, 無線 11g  
のいずれかを表示  
します。

### 1) サーバー設定

**サーバー設定**

サーバー IP アドレス

192.168. 0.100

ポート番号

20000

データ保存

**上書き** 追加

□ 取消 ○ 確定

入力項目の背景色  
が緑になります。

入力項目	説明
サーバー IP アドレス	サーバーの IP アドレスを入力してください。
ポート番号	サーバーで設定したポート番号を入力してください。
データ保存	データの上書き保存または追加保存を選択してください。

▲, ▼ : 項目移動

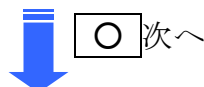
◀, ▶ : データ選択

□ 取消 : 編集中のデータを取り消して戻ります。

○ 確定 : 編集したデータを確定して戻ります。

## 2) 通信設定

通信設定	
HT-IP アドレス	192.168. 0. 10
サブネットマスク	255.255.255. 0
デフォルトゲートウェイ	0. 0. 0. 0
通信ポート選択	<b>LAN-CU</b> 無線 LAN
<input type="checkbox"/> 取消 <input checked="" type="radio"/> 次へ	



通信ポート選択を **[LAN-CU]** に設定した場合は LAN-CU 通信設定画面へ、**[無線 LAN]** に設定した場合は無線 LAN 通信設定画面へ移ります。

入力項目	説明
HT-IP アドレス	HT の IP アドレスを入力してください。他の HT の IP アドレスと重複しないネットワーク上でユニークなアドレスを設定してください。
サブネットマスク	使用するネットワークのサブネットマスクを入力します。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイの IP アドレスを入力します。ゲートウェイがない場合は、0.0.0.0 を設定してください。
通信ポート選択	LAN-CU または無線 LAN を選択します。

- ▲, ▼ : 項目移動
- ◀, ▶ : データ選択
- ☐ 取消 : 編集集中のデータを取り消して戻ります。
- ☒ 次へ : 次の入力項目に移動します。

① LAN-CU (CU-611) の通信設定

LAN-CU 通信設定	
リンク確立再送回数	5
リンク確立再送間隔	5
リンク開放再送回数	5
リンク開放再送間隔	5
リンク開放時間	30
<input type="checkbox"/> 取消 <input checked="" type="radio"/> 確定	

入力項目の背景色が緑になります。

入力項目	説明
リンク確立再送回数	0～3 2 7 6 7 (デフォルト値 5)
リンク確立再送間隔	1～3 2 7 6 7 (デフォルト値 5)
リンク開放再送回数	0～3 2 7 6 7 (デフォルト値 5)
リンク開放再送間隔	1～3 2 7 6 7 (デフォルト値 5)
リンク開放時間	0～3 2 7 6 7 (デフォルト値 30)

▲, ▼ : 項目移動

- ☐ 取消 : 編集中的数据を取り消して戻ります。  
☒ 確定 : 編集中的数据を確定して保存します。

② 無線 LAN の通信設定

**無線 LAN 通信設定**

無線方式 **11b** 11g

SSID **ASSIST**

使用する WEP キー **キー 1** キー 2 キー 3 キー 4

WEP キー 1 64bit  
\*\*\*\*\*

WEP キー 2 128bit  
\*\*\*\*\*

☐ 取消 ☐ 確定



**無線 LAN 通信設定**

WEP キー 1 64bit  
.....

WEP キー 2 128bit  
\*\*\*\*\*

WEP キー 3 64bit  
\*\*\*\*\*

WEP キー 4 128bit  
\*\*\*\*\*

省電力モード **ON** OFF

☐ 取消 ☐ 確定

入力項目の背景色が緑になります。

**WEP キー 64 bit / 128 bit の選択**  
WEP キー項目を選択して、  
◀ : WEP キー\* 64bit を表示して  
WEP キー 64 bit の入力になります。  
▶ : WEP キー\* 128bit を表示して  
WEP キー 128 bit の入力になります。

▲, ▼ : 項目移動

- ☐ 取消 : 編集中的数据を取り消して戻ります。  
☐ 確定 : 編集中的数据を確定して保存します。

入力項目	説明
無線方式	使用する無線通信方式を、11b, 11g から選択します。
SSID	アクセスポイントと同じ SSID を設定してください。(英数字 20 文字)
使用する WEP キー	アクセスポイントと同じ WEP キーになるように WEP キー 1~WEP キー 4 から選択してください
WEP キー 1 ~ WEP キー 4	64 bit の場合は、暗号化キーを数字 10 文字を設定してください。 128 bit の場合は、暗号化キーを数字 26 文字を設定してください。 設定されている WEP キーを変更する場合のみ入力してください。 設定済み WEP キーは表示しませんので注意してください。 アクセスポイントの WEP キーは 16 進数で設定してください。 アクセスポイントの WEP キーと一致しないと LAN に接続しませんので注意してください！！。
省電力モード	省電力モードの ON/OFF を選択します。

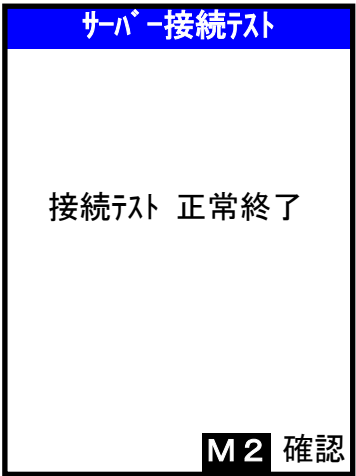
3) 接続テスト

① LAN-CUにおける接続テスト

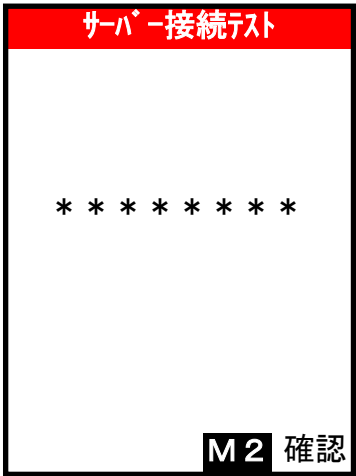
BHT データ受信簡易サーバーを起動してから接続テストをしてください。



正常終了表示画面



エラー表示画面



エラー表示	対処法
LAN-CU 接続エラー	LAN-CU の電源を確認
サーバー IP 接続エラー	サーバー IP アドレスとポート番号設定, スイッチングバブ動作, ケーブル接続を確認
サーバー接続失敗	データベース検索簡易サーバーを起動して、サービスをスタートしてください。

## ② 無線LANにおける接続テスト

### ■ 無線状態検査

設定メニュー

無線 LAN-11b

1. サーバー設定
2. 通信設定
3. 接続テスト
4. 無線状態検査

☐ 終了
☒ 実行



無線状態検査

無線 LAN-11b

SSID  
 AP-MAC アドレス  
 受信信号強度  
 通信品質

ASSIST  
 ABCDEFGHIJKL  
 100  
 [\*\*\*\*]

M2 確認

表示項目	説明
SSID	無線状態を検査するSSIDを先頭から16文字表示します。
アクセス点 MAC アドレス	相手のアクセスポイントのMACアドレスを表示します。
受信信号強度	0～100
通信品質	通信品質を「*」の数で表示します。最高の表示が「****」です。

通信可能なアクセス点がない場合

無線状態検査

無線 LAN-11b

通信可能なアクセス点  
がありません

M2 確認

#### 対処法

- ・ 無線方式がアクセスポイントと一致しているか確認してください。
- ・ SSIDの設定がアクセスポイントと一致しているか確認してください。
- ・ アクセスポイントの設置場所を変更してみてください。

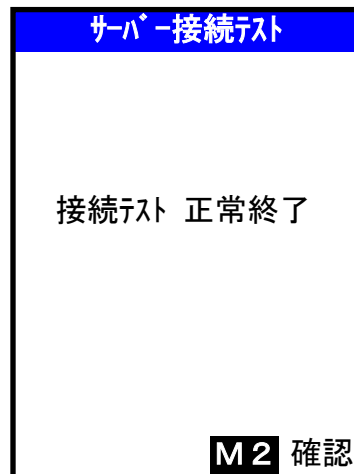


## ■ 接続テスト

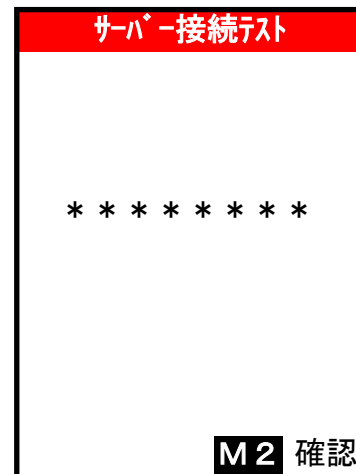
BHT データ受信簡易サーバーを起動してから接続テストをしてください。



### 正常終了表示画面



### エラー表示画面



エラー表示	対処法
無線 LAN 接続エラー	アクセスポイントの無線方式, SSID の設定を確認
サーバー IP 接続エラー	サーバー IP アドレス設定, スイッチングバブ動作, ケーブル接続を確認 アクセスポイントのネットワーク設定を確認
サーバー接続失敗	データベース検索簡易サーバーを起動して、サービスをスタートしてください。 WEP 設定がアクセスポイントの設定と一致しているか確認

### 7-3 BHT-800

**業務メニュー** ▼

1. 棚卸
2. データ送信
3. TCP 通信設定

F1 Ver F2 サブメニュー M2 実行

M2 実行



**設定メニュー**

\*\*\*\*\*

1. サーバー設定
2. 通信設定
3. 接続テスト
4. 無線状態検査

M1 終了 M2 実行

設定により LAN-CU,  
無線 11b, 無線 11g  
のいずれかを表示  
します。

#### 1) サーバー設定

**サーバー設定**

サーバー IP アドレス 192.168.0.100

ポート番号 20000

データ保存 上書き 追加

M1 取消 M2 確定

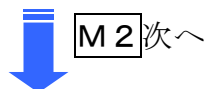
入力項目の背景色  
が緑になります。

入力項目	説明
サーバー IP アドレス	サーバーの IP アドレスを入力してください。
ポート番号	サーバーで設定したポート番号を入力してください。
データ保存	データの上書き保存または追加保存を選択してください。

- ▲, ▼ : 項目移動  
◀, ▶ : データ選択
- M1 取消 : 編集中のデータを取り消して戻ります。  
M2 確定 : 編集したデータを確定して戻ります。

## 2) 通信設定

通信設定	
HT-IP アドレス	192.168. 0. 10
サブネットマスク	255.255.255. 0
デフォルトゲートウェイ	0. 0. 0. 0
通信ポート選択	<b>LAN-CU</b> 無線 LAN
<div>M1 取消</div> <div>M2 次へ</div>	



通信ポート選択を **[LAN-CU]** に設定した場合は LAN-CU 通信設定画面へ、**[無線 LAN]** に設定した場合は無線 LAN 通信設定画面へ移ります。

入力項目	説明
HT-IP アドレス	HT の IP アドレスを入力してください。他の HT の IP アドレスと重複しないネットワーク上でユニークなアドレスを設定してください。
サブネットマスク	使用するネットワークのサブネットマスクを入力します。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイの IP アドレスを入力します。ゲートウェイがない場合は、0.0.0.0 を設定してください。
通信ポート選択	LAN-CU または無線 LAN を選択します。

▲, ▼ : 項目移動

◀, ▶ : データ選択

**M1** 取消 : 編集集中のデータを取り消して戻ります。

**M2** 次へ : 次の入力項目に移動します。

① LAN-CU (CU-811) の通信設定

LAN-CU 通信設定	
リンク確立再送回数	5
リンク確立再送間隔	5
リンク開放再送回数	5
リンク開放再送間隔	5
リンク開放時間	30
<div>M 1 取消</div> <div>M 2 確定</div>	

入力項目の背景色が緑になります。

入力項目	説明
リンク確立再送回数	0～3 2 7 6 7 (デフォルト値 5)
リンク確立再送間隔	1～3 2 7 6 7 (デフォルト値 5)
リンク開放再送回数	0～3 2 7 6 7 (デフォルト値 5)
リンク開放再送間隔	1～3 2 7 6 7 (デフォルト値 5)
リンク開放時間	0～3 2 7 6 7 (デフォルト値 30)

▲, ▼ : 項目移動

M 1

 取消 : 編集中的数据を取り消して戻ります。  

M 2

 確定 : 編集中的数据を確定して保存します。

② 無線 LAN の通信設定

**無線 LAN 通信設定**

無線方式 **11b** 11g

SSID **ASSIST**

使用する WEP キー **キー 1** キー 2 キー 3 キー 4

WEP キー 1 64bit  
\*\*\*\*\*

WEP キー 2 128bit  
\*\*\*\*\*

**M1** 取消 **M2** 確定



**無線 LAN 通信設定**

WEP キー 1 64bit  
.....

WEP キー 2 128bit  
\*\*\*\*\*

WEP キー 3 64bit  
\*\*\*\*\*

WEP キー 4 128bit  
\*\*\*\*\*

省電力モード **ON** OFF

**M1** 取消 **M2** 確定

入力項目の背景色が緑になります。

**WEP キー 64bit / 128bit の選択**  
WEP キー項目を選択して、

◀ : WEP キー\* 64bit を表示して WEP キー 64bit の入力になります。

▶ : WEP キー\* 128bit を表示して WEP キー 128bit の入力になります。

▲, ▼ : 項目移動

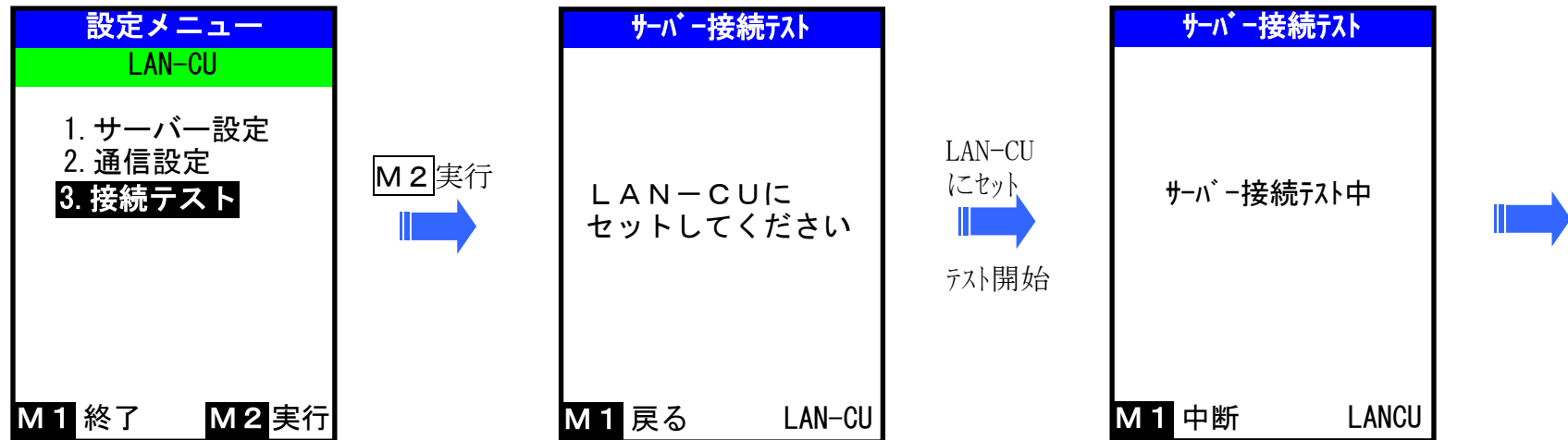
**M1** 取消 : 編集集中のデータを取り消して戻ります。  
**M2** 確定 : 編集集中のデータを確定して保存します。

入力項目	説明
無線方式	使用する無線通信方式を、11b, 11g から選択します。
SSID	アクセスポイントと同じ SSID を設定してください。(英数字 20 文字)
使用する WEP キー	アクセスポイントと同じ WEP キーになるように WEP キー 1~WEP キー 4 から選択してください
WEP キー 1 ~ WEP キー 4	64bit の場合は、暗号化キーを数字 10 文字を設定してください。 128bit の場合は、暗号化キーを数字 26 文字を設定してください。 設定されている WEP キーを変更する場合のみ入力してください。 設定済み WEP キーは表示しませんので注意してください。 アクセスポイントの WEP キーは 16 進数で設定してください。 アクセスポイントの WEP キーと一致しないと LAN に接続しませんので注意してください！！。
省電力モード	省電力モードの ON/OFF を選択します。

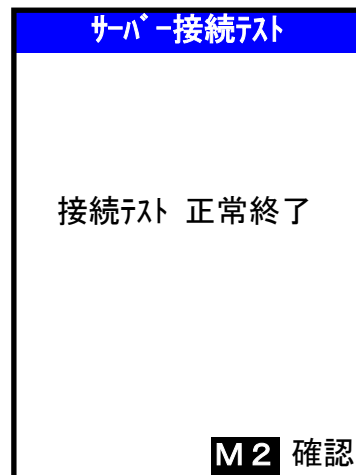
### 3) 接続テスト

#### ① LAN-CUにおける接続テスト

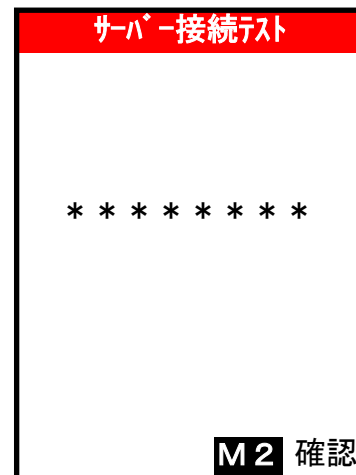
BHT データ受信簡易サーバーを起動してから接続テストをしてください。



正常終了表示画面



エラー表示画面



エラー表示	対処法
LAN-CU 接続エラー	LAN-CU の電源を確認
サーバー IP 接続エラー	サーバー IP アドレスとポート番号設定, スイッチングバブ動作, ケーブル接続を確認
サーバー接続失敗	データベース検索簡易サーバーを起動して、サービスをスタートしてください。

### ③ 無線LANにおける接続テスト

#### ■ 無線状態検査

設定メニュー	
無線 LAN-11b	
1. サーバー設定	
2. 通信設定	
3. 接続テスト	
<b>4. 無線状態検査</b>	
<b>M1 終了</b>	<b>M2 実行</b>

M2 実行



無線状態検査	
無線 LAN-11b	
SSID	ASSIST
AP-MAC アドレス	ABCDEFGHIJKL
受信信号強度	100
通信品質	[****]
	<b>M2 確認</b>

表示項目	説明
SSID	無線状態を検査するSSIDを先頭から16文字表示します。
アクセス点 MAC アドレス	相手のアクセスポイントのMACアドレスを表示します。
受信信号強度	0～100
通信品質	通信品質を「*」の数で表示します。最高の表示が「****」です。

通信可能なアクセス点がない場合

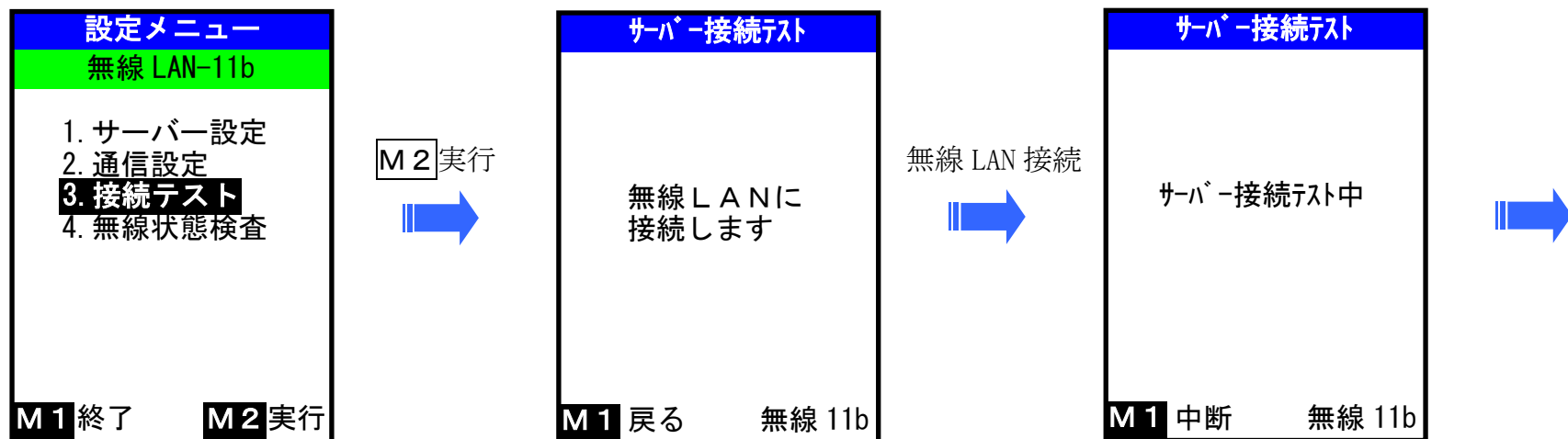
無線状態検査	
無線 LAN-11b	
通信可能なアクセス点がありません	
	<b>M2 確認</b>

#### 対処法

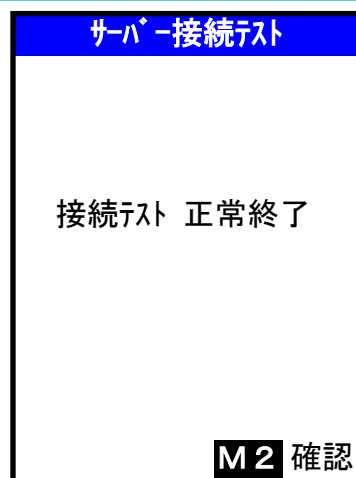
- ・ 無線方式がアクセスポイントと一致しているか確認してください。
- ・ SSIDの設定がアクセスポイントと一致しているか確認してください。
- ・ アクセスポイントの設置場所を変更してみてください。

## ■ 接続テスト

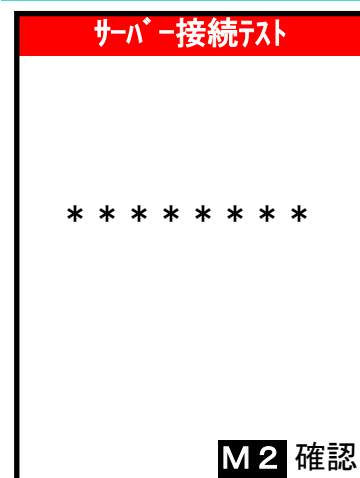
BHT データ受信簡易サーバーを起動してから接続テストをしてください。



### 正常終了表示画面



### エラー表示画面



エラー表示	対処法
無線 LAN 接続エラー	アクセスポイントの無線方式, SSID の設定を確認
サーバー IP 接続エラー	サーバー IP アドレス設定, スイッチングバブ動作, ケーブル接続を確認 アクセスポイントのネットワーク設定を確認
サーバー接続失敗	データベース検索簡易サーバーを起動して、サービスをスタートしてください。 WEP 設定がアクセスポイントの設定と一致しているか確認



## 7-4 BHT-900

業務メニュー ▲

\* 1. 棚卸  
2. データ送信  
3. TCP 通信設定

F1 Ver F2 サブメニュー M2 実行



設定メニュー

1. サーバー設定  
2. 通信設定  
3. 接続テスト

M1 終了 M2 実行

### 1) サーバー設定

サーバー設定

サーバー IP アドレス  
192.168. 0.100

ポート番号  
20000

データ保存  
上書き 追加

M1 取消 M2 確定

入力項目の背景色が緑になります。

入力項目	説明
サーバー IP アドレス	サーバーの IP アドレスを入力してください。
ポート番号	サーバーで設定したポート番号を入力してください。
データ保存	データの上書き保存または追加保存を選択してください。

▲, ▼ : 項目移動

◀, ▶ : データ選択

M1 取消 : 編集中のデータを取り消して戻ります。

M2 確定 : 編集したデータを確定して戻ります。

## 2) 通信設定

通信設定	
HT-IP アドレス	192.168. 0. 10
サブネットマスク	255, 255, 255, 0
デフォルトゲートウェイ	0. 0. 0. 0
M1 取消	M2 確定



通信設定	
リンク確立再送回数	5
リンク確立再送間隔	5
リンク開放再送回数	5
M1 取消	M2 確定



通信設定	
リンク開放再送回数	5
リンク開放再送間隔	5
リンク開放時間	30
M1 取消	M2 確定

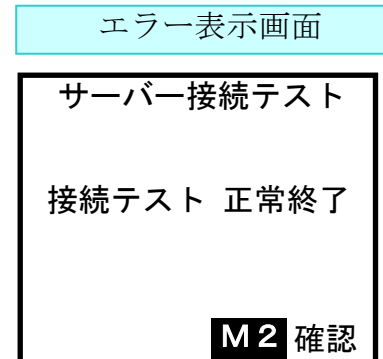
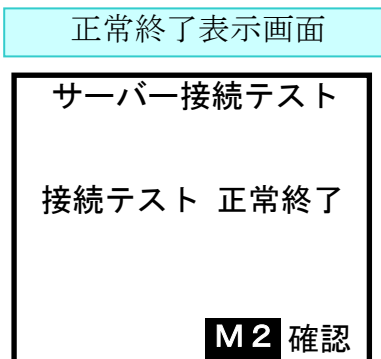
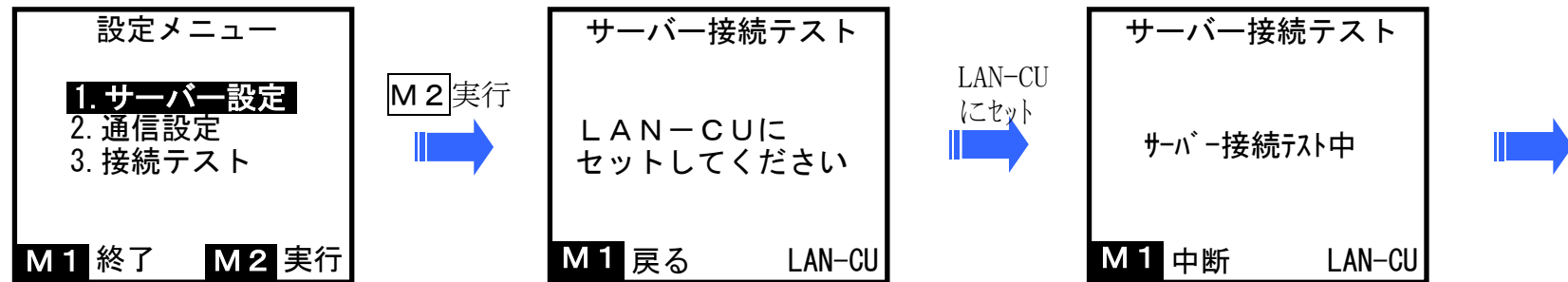
入力項目	説明
HT-IP アドレス	HTのIPアドレスを入力してください。他のHTのIPアドレスと重複しないネットワーク上でユニークなアドレスを設定してください。
サブネットマスク	使用するネットワークのサブネットマスクを入力します。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイのIPアドレスを入力します。ゲートウェイがない場合は、0.0.0.0 を設定してください。
リンク確立再送回数	0～32767（デフォルト値 5）
リンク確立再送間隔	1～32767（デフォルト値 5）
リンク開放再送回数	0～32767（デフォルト値 5）
リンク開放再送間隔	1～32767（デフォルト値 5）
リンク開放時間	0～32767（デフォルト値 30）

▲, ▼ : 項目移動

M1 取消 : 編集中のデータを取り消して戻ります。  
M2 確定 : 編集したデータを確定して戻ります。

### 3) 接続テスト

BHT データ受信簡易サーバーを起動してから接続テストをしてください。



エラー表示	対処法
LAN-CU 接続エラー	LAN-CU の電源を確認
サーバー IP 接続エラー	サーバー IP アドレスとポート番号設定, スイッチングバブ動作, ケーブル接続を確認
サーバー接続失敗	データベース検索簡易サーバーを起動して、サービスをスタートしてください。

## 7-5 BHT-1300

**業務メニュー** ▼

1. 棚卸
2. データ送信
3. TCP 通信設定

F1 Ver F2 サブメニュー M2 実行

M2 実行



**設定メニュー**

\*\*\*\*\*

1. サーバー設定
2. 通信設定
3. 接続テスト
4. 無線状態検査

M1 終了 M2 実行

設定により LAN-CU,  
無線 11b, 無線 11g  
のいずれかを表示  
します。

### 1) サーバー設定

**サーバー設定**

サーバー IP アドレス

192.168. 0.100

ポート番号

20000

データ保存

上書き 追加

M1 取消 M2 確定

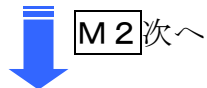
入力項目の背景色  
が緑になります。

入力項目	説明
サーバー IP アドレス	サーバーの IP アドレスを入力してください。
ポート番号	サーバーで設定したポート番号を入力してください。
データ保存	データの上書き保存または追加保存を選択してください。

- ▲, ▼ : 項目移動  
◀, ▶ : データ選択
- M1 取消 : 編集中のデータを取り消して戻ります。  
M2 確定 : 編集したデータを確定して戻ります。

## 2) 通信設定

通信設定	
HT-IP アドレス	192.168. 0. 10
サブネットマスク	255.255.255. 0
デフォルトゲートウェイ	0. 0. 0. 0
通信ポート選択	<b>LAN-CU</b> 無線 LAN
<div>M 1 取消</div> <div>M 2 次へ</div>	



通信ポート選択を **[LAN-CU]** に設定した場合は LAN-CU 通信設定画面へ、**[無線 LAN]** に設定した場合は無線 LAN 通信設定画面へ移ります。

入力項目	説明
HT-IP アドレス	HT の IP アドレスを入力してください。他の HT の IP アドレスと重複しないネットワーク上でユニークなアドレスを設定してください。
サブネットマスク	使用するネットワークのサブネットマスクを入力します。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイの IP アドレスを入力します。ゲートウェイがない場合は、0.0.0.0 を設定してください。
通信ポート選択	LAN-CU または無線 LAN を選択します。

▲, ▼ : 項目移動

◀, ▶ : データ選択

**M 1** 取消 : 編集集中のデータを取り消して戻ります。

**M 2** 次へ : 次の入力項目に移動します。

① LAN-CU (CU-811) の通信設定

LAN-CU 通信設定	
リンク確立再送回数	5
リンク確立再送間隔	5
リンク開放再送回数	5
リンク開放再送間隔	5
リンク開放時間	30
<div>M 1 取消</div> <div>M 2 確定</div>	

入力項目の背景色が緑になります。

入力項目	説明
リンク確立再送回数	0～3 2 7 6 7 (デフォルト値 5)
リンク確立再送間隔	1～3 2 7 6 7 (デフォルト値 5)
リンク開放再送回数	0～3 2 7 6 7 (デフォルト値 5)
リンク開放再送間隔	1～3 2 7 6 7 (デフォルト値 5)
リンク開放時間	0～3 2 7 6 7 (デフォルト値 3 0)

▲, ▼ : 項目移動

M 1

 取消 : 編集中的数据を取り消して戻ります。  

M 2

 確定 : 編集中的数据を確定して保存します。

② 無線 LAN の通信設定

**無線 LAN 通信設定**

無線方式 **802.11b**

SSID **ASSIST**

使用する WEP キー  
**キー 1** キー 2 キー 3 キー 4  
 WEP キー 1 64bit  
 \*\*\*\*\*  
 WEP キー 2 128bit  
 \*\*\*\*\*

**M1** 取消 **M2** 確定



**無線 LAN 通信設定**

WEP キー 1 64bit  
 .....  
 WEP キー 2 128bit  
 \*\*\*\*\*  
 WEP キー 3 64bit  
 \*\*\*\*\*  
 WEP キー 4 128bit  
 \*\*\*\*\*  
 省電力モード **ON** OFF

**M1** 取消 **M2** 確定

入力項目の背景色が緑になります。

**WEP キー 64 bit / 128 bit の選択**  
 WEP キー項目を選択して、  
 : **WEP キー\* 64bit** を表示して  
 WEP キー 64 bit の入力になります。  
 : **WEP キー\* 128bit** を表示して  
 WEP キー 128 bit の入力になります。

▲, ▼ : 項目移動

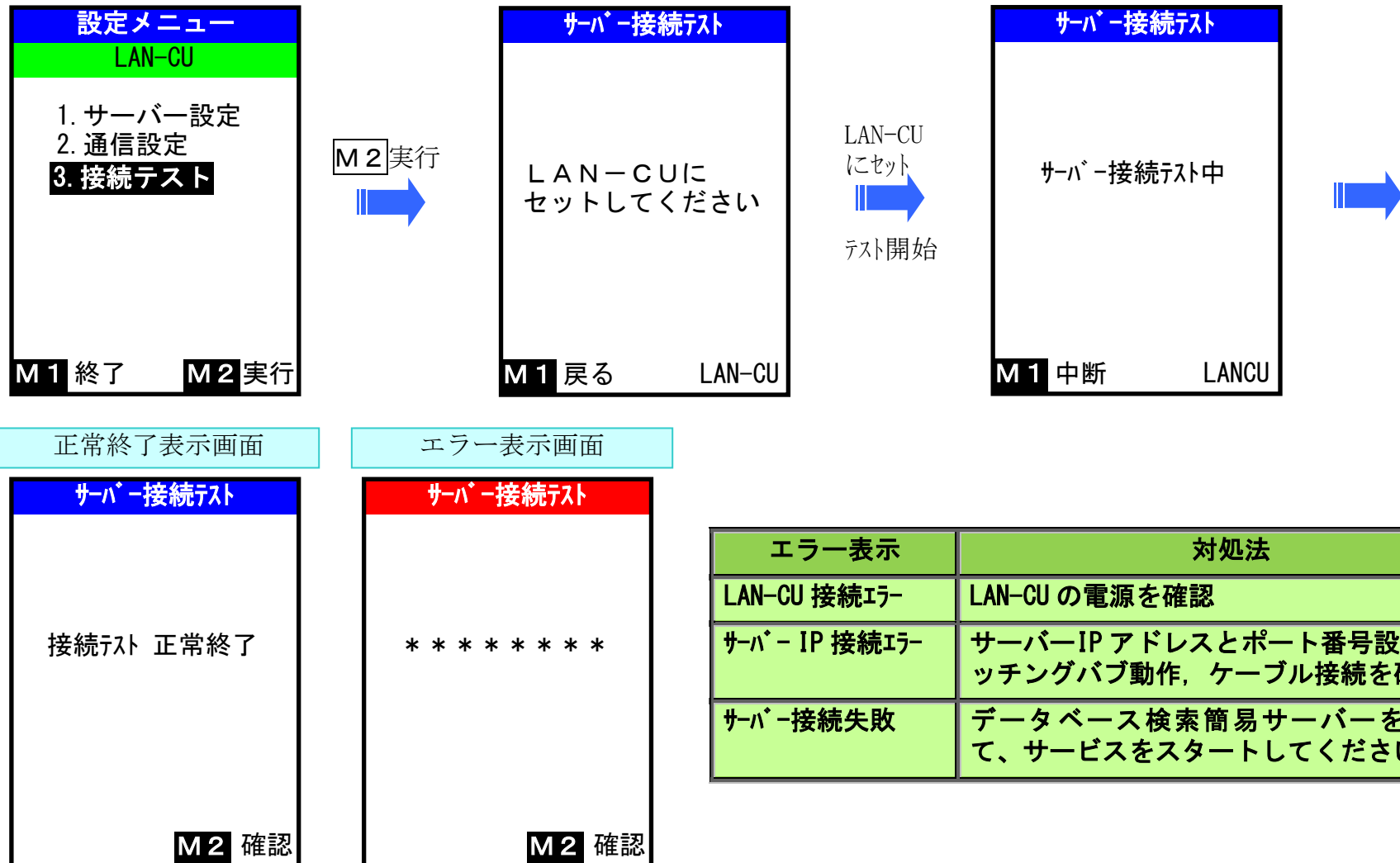
**M1** 取消 : 編集集中のデータを取り消して戻ります。  
**M2** 確定 : 編集集中のデータを確定して保存します。

入力項目	説明
無線方式	使用する無線通信方式を、802.11b, 11b/g, 11b/g/n, 11a, 11a/n から選択します。
SSID	アクセスポイントと同じ SSID を設定してください。(英数字 20 文字)
使用する WEP キー	アクセスポイントと同じ WEP キーになるように WEP キー 1~WEP キー 4 から選択してください
WEP キー 1 ~ WEP キー 4	64 bit の場合は、暗号化キーを数字 10 文字を設定してください。 128 bit の場合は、暗号化キーを数字 26 文字を設定してください。 設定されている WEP キーを変更する場合のみ入力してください。 設定済み WEP キーは表示しませんので注意してください。 アクセスポイントの WEP キーは 16 進数で設定してください。 アクセスポイントの WEP キーと一致しないと LAN に接続しませんので注意してください！！。
省電力モード	省電力モードの ON/OFF を選択します。

### 3) 接続テスト

#### ① LAN-CUにおける接続テスト

BHT データ受信簡易サーバーを起動してから接続テストをしてください。





④ 無線LANにおける接続テスト

■ 無線状態検査

設定メニュー	
無線 LAN-11b	
1. サーバー設定	
2. 通信設定	
3. 接続テスト	
4. 無線状態検査	
M1 終了	M2 実行

M2 実行



無線状態検査	
無線 LAN-11b	
SSID	ASSIST
AP-MAC アドレス	ABCDEFGHIJKL
受信信号強度	100
通信品質	[■■■■]
M2 終了	

表示項目	説明
SSID	無線状態を検査するSSIDを先頭から16文字表示します。
アクセス点 MAC アドレス	相手のアクセスポイントのMACアドレスを表示します。
受信信号強度	0～100
通信品質	通信品質を「*」の数で表示します。最高の表示が「■■■■」です。

通信可能なアクセス点がない場合

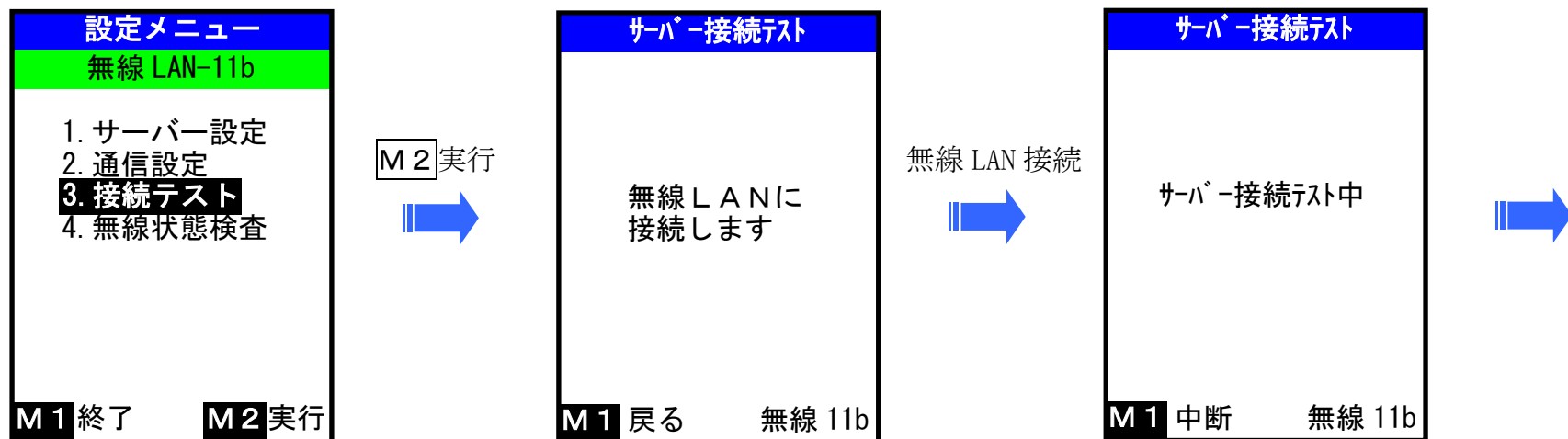
無線状態検査
無線 LAN-11b
通信可能なアクセス点がありません
M2 確認

対処法

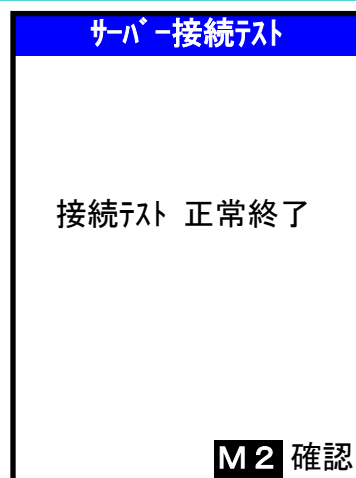
- ・ 無線方式がアクセスポイントと一致しているか確認してください。
- ・ SSIDの設定がアクセスポイントと一致しているか確認してください。
- ・ アクセスポイントの設置場所を変更してみてください。

## ■ 接続テスト

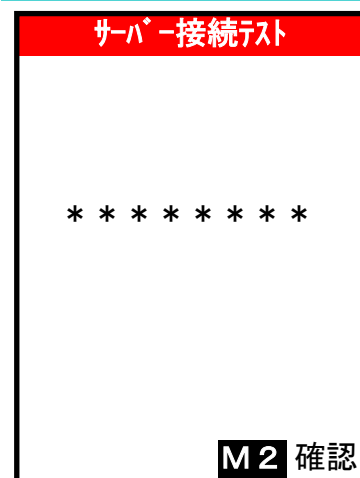
BHT データ受信簡易サーバーを起動してから接続テストをしてください。



### 正常終了表示画面



### エラー表示画面



エラー表示	対処法
無線 LAN 接続エラー	アクセスポイントの無線方式, SSID の設定を確認
サーバー IP 接続エラー	サーバー IP アドレス設定, スイッチングバブ動作, ケーブル接続を確認 アクセスポイントのネットワーク設定を確認
サーバー接続失敗	データベース検索簡易サーバーを起動して、サービスをスタートしてください。 WEP 設定がアクセスポイントの設定と一致しているか確認

## 8 通信操作

業務メニューからの「未送信データ全送信」と処理メニューからの「3. 送信」でBHTデータ受信簡易サーバにデータ送信します。  
サブメニューの「4. 業務設定受信」, 「5. 業務設定送信」, 「8. ファイル受信」, 「9. リモート受信」には対応していません。

### 8-1 BHT-500

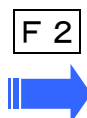
#### 1) 未送信データ全送信

業務メニュー画面において[F 2]を押します。

業務メニュー ▼

▶ 1. 棚卸  
> 2. データ送信  
3. TCP 通信設定

F1 Ver F2 送 M2 実行



未送信データ全送信

未送信データを  
すべて送信  
しますか？

M1 取消 M2 送信



送信完了後のデータ消去で  
「確認画面表示」を設定した場合

未送信データ全送信

ファイル送信  
完了後データを  
消去しますか？

M1 はい M2 いいえ



未送信データ全送信  
データ追加

LAN-CUに  
セットしてください

M1 戻る LAN-CU



未送信データ全送信  
データ追加

送信中  
\*\*\*

M1 中断 LAN-CU



未送信データ全送信  
データ追加

未送信データすべて  
送信しました

M2 確認

アップロード方式が  
「追加」の場合



業務メニューに  
戻ります

●送信失敗ファイルがある場合の表示画面

未送信データ全送信 データ追加	
送信終了	
送信完了ファイル	2 個
送信失敗ファイル	2 個
M 2 確認	

データ送信を失敗すると  
そこで送信を中断し、  
それ以降のファイルは  
送信しません。

●すべてのファイルを送信失敗した場合の表示画面

未送信データ全送信 データ追加	
送信失敗	
M 2 確認	

2) 処理メニューの「3. 送信」

処理メニュー画面において「3. 送信」を選択して [ENT] を押します。

棚卸メニュー	
1. 入力	
2. 訂正	
3. 送信	
未送信データ件数	1,000 件
入力可能データ件数	204,464 件
M 1 戻る M 2 実行	

M 2 実行



棚卸データ送信 データ上書き	
LAN-CUに セットしてください	
M 1 戻る LAN-CU	

LAN-CU  
にセット



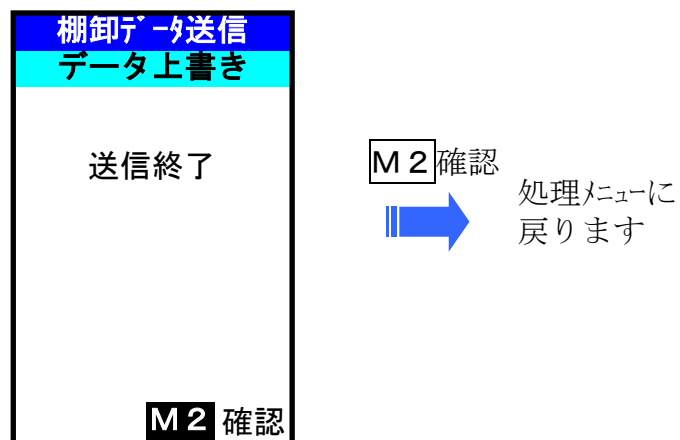
棚卸データ送信 データ上書き	
送信中	
***	
M 1 中断 LAN-CU	

アップロード方式が  
「上書き」の場合

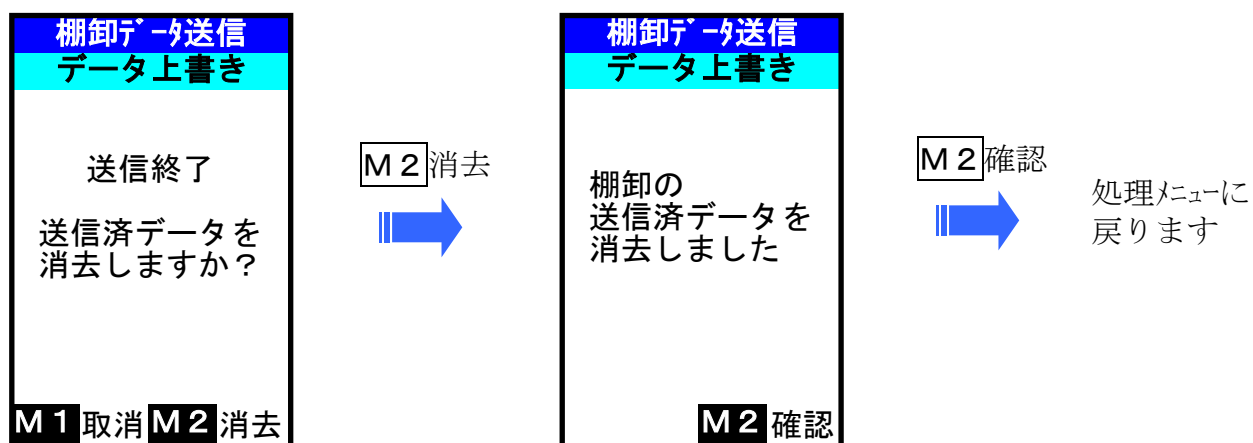
送信終了



- 送信完了後のデータ消去に「消去する」または「消去しない」を設定した場合

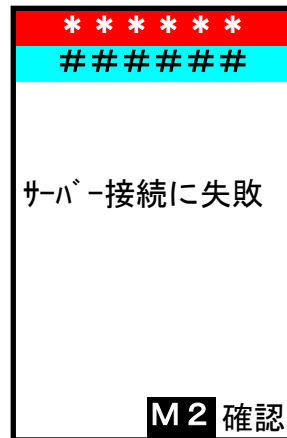


- 送信完了後のデータ消去に「確認画面表示」を設定した場合

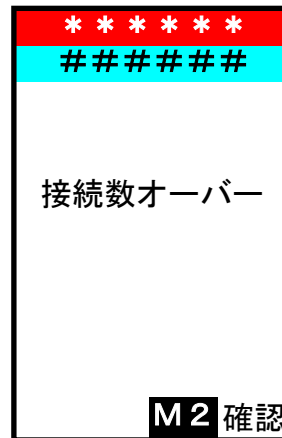


●通信エラー発生表示画面

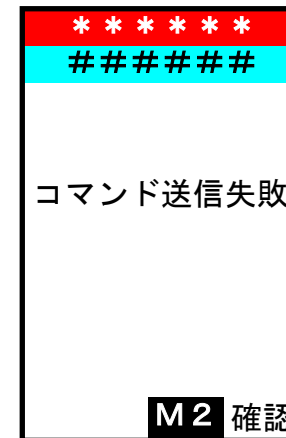
サーバー接続に失敗した場合



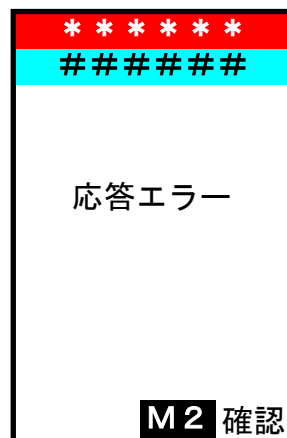
HTのサーバーへの接続数が5を超えた場合



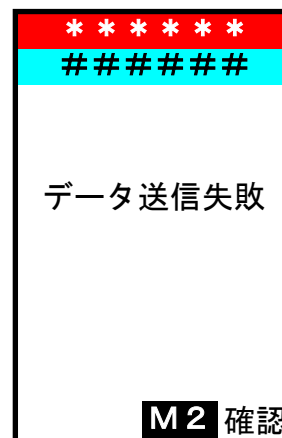
サーバーへのコマンド送信に失敗した場合



サーバーからの応答データにエラーが発生した場合



データ送信に失敗した場合



■「\*\*\*\*\*」の表示

データ送信の場合

**[業務名]+データ送信**

未送信データ全送信の場合

**未送信データ全送信**

■「#####」の表示

データ上書きの場合

**データ上書き**

データ追加の場合

**データ追加**

## 8-2 BHT-600

### 1) 未送信データ全送信

業務メニュー画面において [F 4] を押します。

**業務メニュー** ▼

- ▶ 1. 棚卸
- > 2. データ送信
- 3. TCP 通信設定

F1 Ver F2 サブメニュー ○ 実行

[F 4]

**未送信データの全送信**

未送信データを  
すべて送信しますか？

□ 取消 ○ 送信

○ 送信

送信完了後のデータ消去で  
「確認画面表示」を設定した場合

**未送信データの全送信**

ファイル送信完了後  
データを消去しますか？

□ はい ○ いいえ

**未送信データの全送信**  
**データ追加**

LAN-CUに  
セットしてください

M1 戻る LAN-CU

LAN-CU  
にセット

**未送信データの全送信**  
**データ追加**

送信中

\*\*\*

M1 中断 LAN-CU

送信終了

**未送信データの全送信**  
**データ追加**

未送信データすべて  
送信しました

M2 確認

アップロード方式  
が「追加」の  
場合

確認  
業務メニューに  
戻ります

●送信失敗ファイルがある場合の表示画面

未送信データの全送信 データ追加	
送信終了	
送信完了ファイル	2 個
送信失敗ファイル	2 個
M2 確認	

データ送信を失敗すると  
そこで送信を中断し、  
それ以降のファイルは  
送信しません。

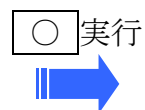
●すべてのファイルを送信失敗した場合の表示画面

未送信データの全送信 データ追加	
送信失敗	
M2 確認	

2) 処理メニューの「3. 送信」

処理メニュー画面において「3. 送信」を選択して〔ENT〕を押します。

棚卸メニュー	
1. 入力	
2. 訂正	
3. 送信	
未送信データ件数 1,000 件	
□ 戻る	○ 実行



棚卸データ送信 データ上書き	
LAN-CUに セットしてください	
M1 戻る	LAN-CU



棚卸データ送信 データ上書き	
送信中	
***	
M1 中断	LAN-CU

アップロード方式  
が「上書き」  
の場合





- 送信完了後のデータ消去に「消去する」または「消去しない」を設定した場合

棚卸データ送信  
データ上書き

送信終了

M2 確認

確認  
→ 処理メニューに  
戻ります

- 送信完了後のデータ消去に「確認画面表示」を設定した場合

棚卸データ送信  
データ上書き

送信終了  
送信済データを  
消去しますか？

☐ 取消 ☐ 消去

消去  
→

棚卸データ送信  
データ上書き

棚卸の  
送信済データを  
消去しました

M2 確認

確認  
→ 処理メニューに  
戻ります

●通信エラー発生表示画面

サーバー接続に失敗した場合

*****
#####
サーバー接続に失敗
M2 確認

HTのサーバーへの接続数が5を超えた場合

*****
#####
接続数オーバー
M2 確認

サーバーへのコマンド送信に失敗した場合

*****
#####
コマンド送信失敗
M2 確認

サーバーからの応答データにエラーが発生した場合

*****
#####
応答エラー
M2 確認

データ送信に失敗した場合

*****
#####
データ送信失敗
M2 確認

■「\*\*\*\*\*」の表示

データ送信の場合

[業務名] +データ送信

未送信データ全送信の場合

未送信データ全送信

■「#####」の表示

データ上書きの場合

データ上書き

データ追加の場合

データ追加

### 8-3 BHT-800

#### 1) 未送信データ全送信

業務メニュー画面において「左トリガ」キーを押します。

**業務メニュー** ▼

- ▶ 1. 棚卸
- > 2. データ送信
- 3. TCP 通信設定

F1 Ver F2 サブメニュー M2 実行

左トリガ



**未送信データの全送信**

未送信データを  
すべて送信しますか？

M1 取消 M2 送信

M2 送信



送信完了後のデータ消去で  
「確認画面表示」を設定した場合

**未送信データの全送信**

ファイル送信完了後  
データを消去しますか？

M1 はい M2 いいえ



**未送信データの全送信**  
**データ追加**

LAN-CUに  
セットしてください

M1 戻る LAN-CU

LAN-CU  
にセット



**未送信データの全送信**  
**データ追加**

送信中

\*\*\*

M1 中断 LAN-CU

送信終了



**未送信データの全送信**  
**データ追加**

未送信データすべて  
送信しました

M2 確認

アップロード方式  
が「追加」の  
場合

確認



業務メニューに  
戻ります

●送信失敗ファイルがある場合の表示画面

未送信データの全送信	
データ追加	
送信終了	
送信完了ファイル	2 個
送信失敗ファイル	2 個
M2 確認	

データ送信を失敗すると  
そこで送信を中断し、  
それ以降のファイルは  
送信しません。

●すべてのファイルを送信失敗した場合の表示画面

未送信データの全送信	
データ追加	
送信失敗	
M2 確認	

2) 処理メニューの「3. 送信」

処理メニュー画面において「3. 送信」を選択して [ENT] を押します。

棚卸メニュー	
1. 入力	
2. 訂正	
3. 送信	
未送信データ件数 1,000 件	
M1 戻る	M2 実行

M2 実行  
→

棚卸データ送信	
データ上書き	
LAN-CUに セットしてください	
M1 戻る	LAN-CU

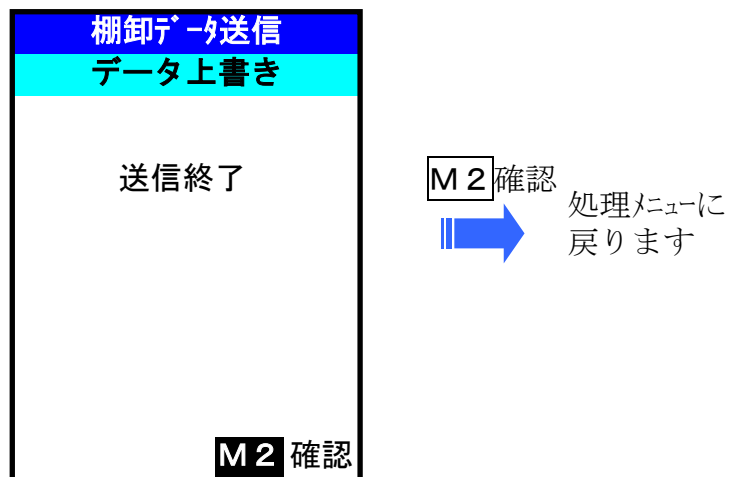
LAN-CU  
にセット  
→

棚卸データ送信	
データ上書き	
送信中	
***	
M1 中断	LAN-CU

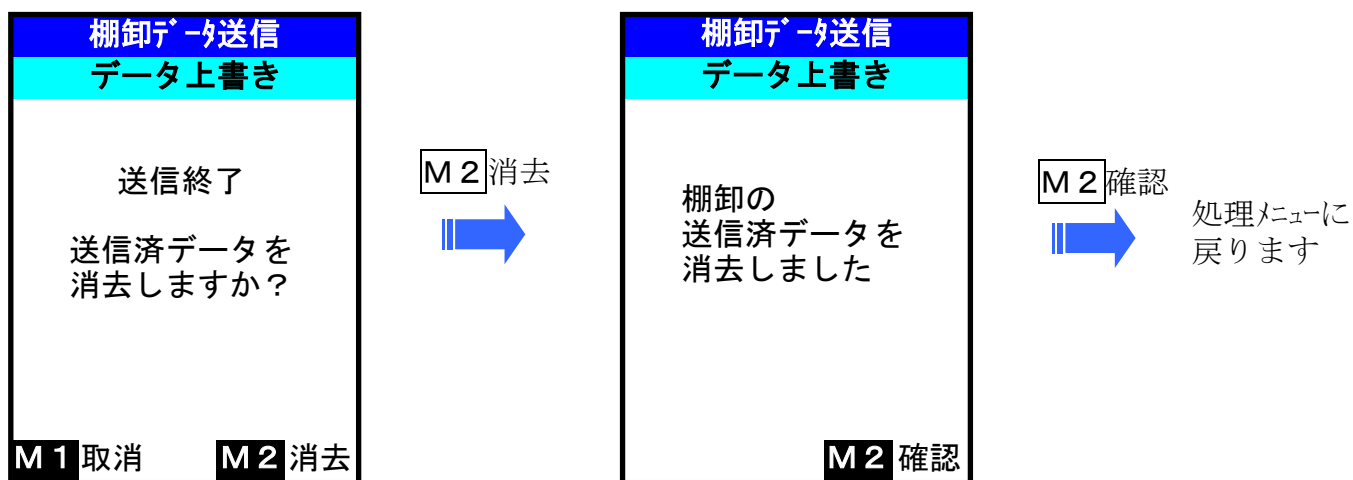
アップロード方式  
が「上書き」  
の場合

送信終了  
→

- 送信完了後のデータ消去に「消去する」または「消去しない」を設定した場合



- 送信完了後のデータ消去に「確認画面表示」を設定した場合



●通信エラー発生表示画面

サーバー接続に失敗した場合

*****
#####
サーバー接続に失敗
M2 確認

HTのサーバーへの接続数が5を超えた場合

*****
#####
接続数オーバー
M2 確認

サーバーへのコマンド送信に失敗した場合

*****
#####
コマンド送信失敗
M2 確認

サーバーからの応答データにエラーが発生した場合

*****
#####
応答エラー
M2 確認

データ送信に失敗した場合

*****
#####
データ送信失敗
M2 確認

■「\*\*\*\*\*」の表示

データ送信の場合

**[業務名] +データ送信**

未送信データ全送信の場合

**未送信データ全送信**

■「#####」の表示

データ上書きの場合

**データ上書き**

データ追加の場合

**データ追加**

## 8-4 BHT-900

### 1) 未送信データ全送信

業務メニュー画面において「左トリガ」キーを押します。

業務メニュー ▲

\* 1. 棚卸  
2. データ送信  
3. TCP 通信設定

F1 Ver F2 サブメニュー M2 実行

左トリガ



未送信データ全送信

未送信データを  
すべて送信しますか？

M1 取消 M2 送信

M2 送信



送信完了後のデータ消去で  
「確認画面表示」を設定した場合

未送信データ全送信

ファイル送信完了後  
データを消去しますか？

M1 はい M2 いいえ



未送信データ全送信  
データ追加

LAN-CUに  
セットしてください

M1 戻る LAN-CU

LAN-CU  
にセット



未送信データ全送信  
データ追加

送信中  
\*\*\*

M1 中断 LAN-CU

送信終了



未送信データ全送信  
データ追加

未送信データすべて  
送信しました

M2 確認

アップロード方式が  
「追加」の場合

#### ●送信失敗ファイルがある場合の表示画面

未送信データ全送信  
データ追加

送信終了

送信完了ファイル 2 個  
送信失敗ファイル 2 個

M2 確認

データ送信を失敗すると  
そこで送信を中断し、  
それ以降のファイルは  
送信しません。

#### ●すべてのファイルを送信失敗した場合の表示画面

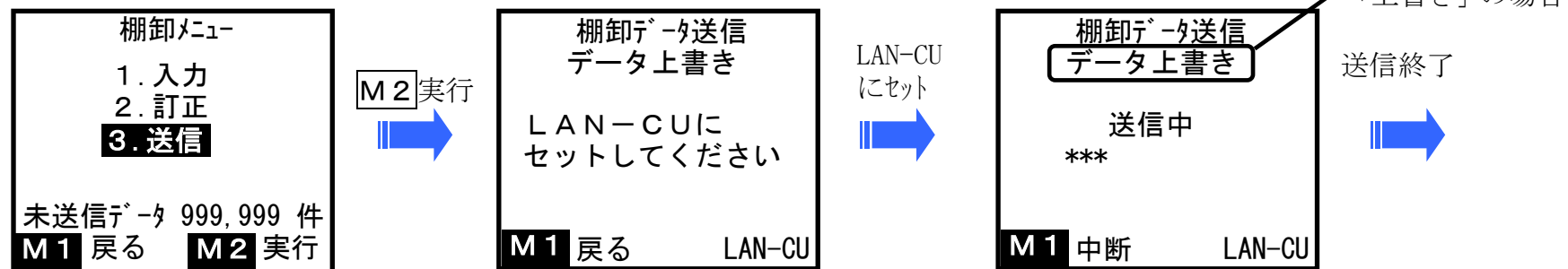
未送信データ全送信

送信失敗

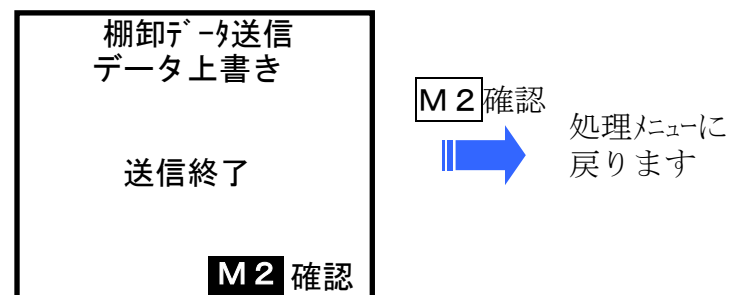
M2 確認

## 2) 処理メニューの「3. 送信」

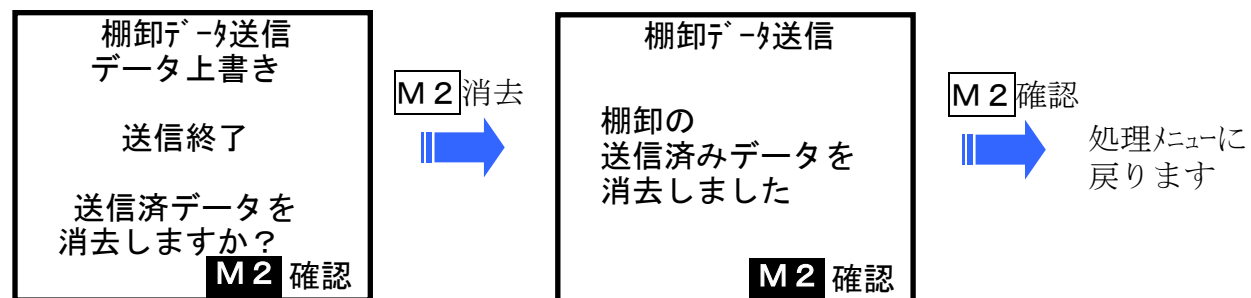
処理メニュー画面において「3. 送信」を選択して〔ENT〕を押します。



### ●送信完了後のデータ消去に「消去する」または「消去しない」を設定した場合



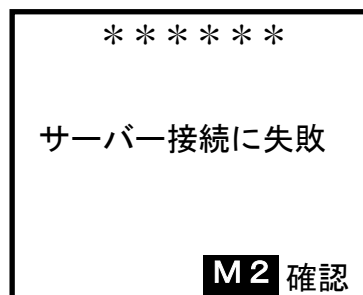
### ●送信完了後のデータ消去に「確認画面表示」を設定した場合



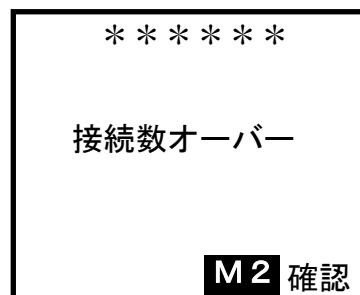


●通信エラー発生表示画面

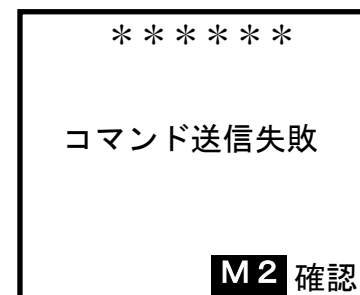
サーバー接続に失敗した場合



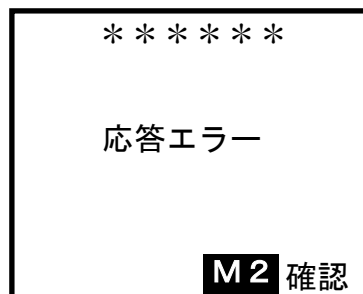
HTのサーバーへの接続数が5を超えた場合



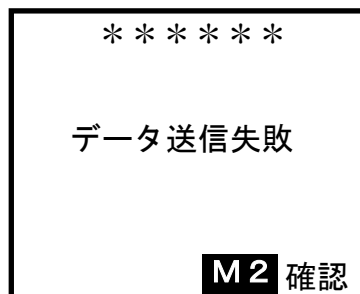
サーバーへのコマンド送信に失敗した場合



サーバーからの応答データにエラーが発生した場合



データ送信に失敗した場合



■「\*\*\*\*\*」の表示

- ・データ受信の場合： 「業務名」+データ送信
- ・未送信データ全送信の場合： 未送信データ全送信

## 8-5 BHT-1300

### 1) 未送信データ全送信

業務メニュー画面において「左トリガ」キーを押します。

**業務メニュー** ▼

- ▶ 1. 棚卸
- > 2. データ送信
- 3. TCP 通信設定

F1 Ver F2サブメニュー M2実行

左トリガ



**未送信データの全送信**

未送信データを  
すべて送信しますか？

M1 取消 M2 送信

M2 送信



送信完了後のデータ消去で  
「確認画面表示」を設定した場合

**未送信データの全送信**

ファイル送信完了後  
データを消去しますか？

M1 はい M2 いいえ



**未送信データの全送信**  
**データ追加**

LAN-CUに  
セットしてください

M1 戻る LAN-CU

LAN-CU  
にセット



**未送信データの全送信**  
**データ追加**

送信中

\*\*\*

M1 中断 LAN-CU

送信終了



**未送信データの全送信**  
**データ追加**

未送信データすべて  
送信しました

M2 確認

アップロード方式  
が「追加」の  
場合

確認



業務メニューに  
戻ります

●送信失敗ファイルがある場合の表示画面

未送信データの全送信 データ追加	
送信終了	
送信完了ファイル	2 個
送信失敗ファイル	2 個
M2 確認	

データ送信を失敗すると  
そこで送信を中断し、  
それ以降のファイルは  
送信しません。

●すべてのファイルを送信失敗した場合の表示画面

未送信データの全送信 データ追加	
送信失敗	
M2 確認	

2) 処理メニューの「3. 送信」

処理メニュー画面において「3. 送信」を選択して〔ENT〕を押します。

棚卸メニュー	
1. 入力	
2. 訂正	
3. 送信	
未送信データ件数 1,000 件	
M1 戻る	M2 実行

M2 実行  
→

棚卸データ送信 データ上書き	
LAN-CUに セットしてください	
M1 戻る	LAN-CU

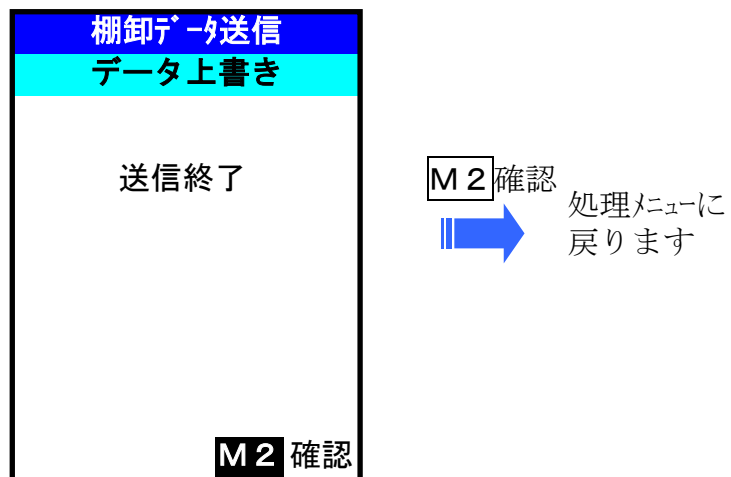
LAN-CU  
にセット  
→

棚卸データ送信 データ上書き	
送信中	
***	
M1 中断	LAN-CU

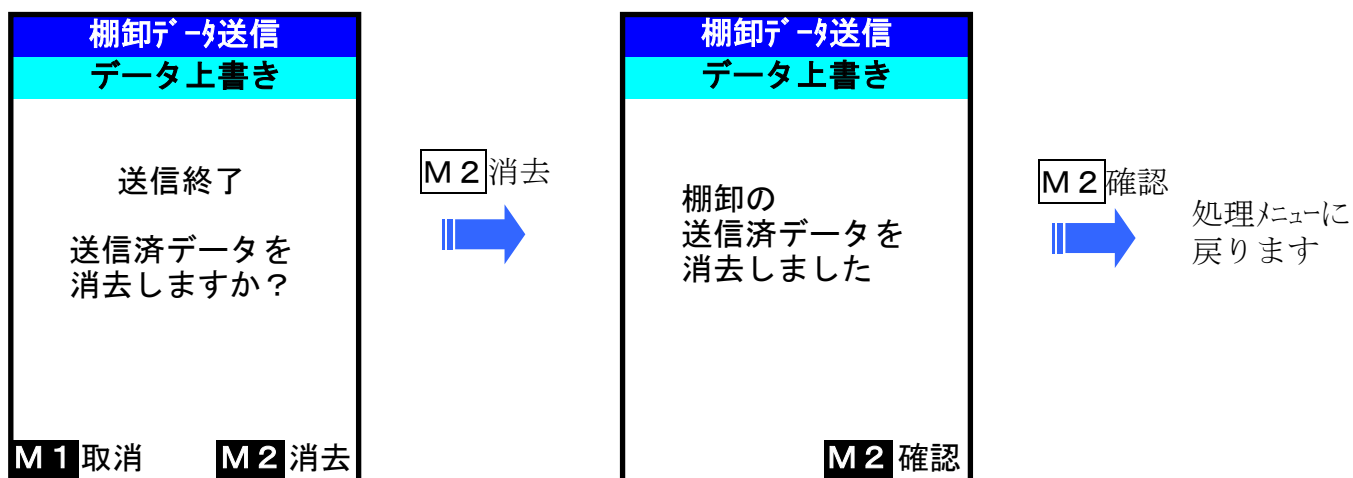
アップロード方式  
が「上書き」  
の場合

送信終了  
→

- 送信完了後のデータ消去に「消去する」または「消去しない」を設定した場合



- 送信完了後のデータ消去に「確認画面表示」を設定した場合



●通信エラー発生表示画面

サーバー接続に失敗した場合

*****
#####
サーバー接続に失敗
M2 確認

HTのサーバーへの接続数が5を超えた場合

*****
#####
接続数オーバー
M2 確認

サーバーへのコマンド送信に失敗した場合

*****
#####
コマンド送信失敗
M2 確認

サーバーからの応答データにエラーが発生した場合

*****
#####
応答エラー
M2 確認

データ送信に失敗した場合

*****
#####
データ送信失敗
M2 確認

■「\*\*\*\*\*」の表示

データ送信の場合

[業務名] +データ送信

未送信データ全送信の場合

未送信データ全送信

■「#####」の表示

データ上書きの場合

データ上書き

データ追加の場合

データ追加